

凡 例	
番号	群落名等
1	シラキープナ群集
2	リュウブーミズナラ群集
6	アカシデーイヌシデ群落
10	ミヤマシキミーアカガシ群集
21	ウリノキミズキ群落
28	アカガシ二次林
50	アカマツ群落
40	チガヤーススキ群落
55	スギ・ヒノキ・サワラ植林
81	シキミーモミ群集
38	ケヤキ群落
15	シオジ群落
18	山頂部風衝低木群落
12	ツガーツクシシャクナゲ群落
D	ウラジロガシ二次林
100	水田
×	市街地等

凡 例	
	現地調査区域
	周辺区域(現地調査区域の外側500mの範囲)
	林班界
	小班界
	保護林区域(案)

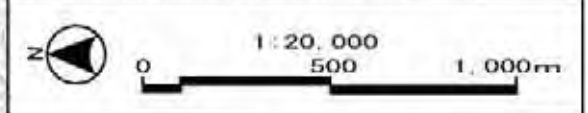


図4-1-1 保護林区域図(案)(多良岳山系)

4-2 九千部山地域

(1) 保護林設定の目的及び特徴

《 目的 》

我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とした植物群落保護林の新設。

《 特徴 》

佐賀県や長崎県では標高 800～950m 以上がブナクラス域とされており、九州西部においては高度的にブナクラス域に達する山地は背振山地や多良岳山地、雲仙岳に限られ、周辺のブナクラス域に達する山地からは孤立して分布している。

保護林区域(案)において最も標高が高い九千部山(847m)付近にはブナ林は見られないが、九千部山から石谷山(754m)へと続く稜線などにはブナの大木が散在し、わずかにブナ林(シラキーブナ群集)が残存している。また、石谷山周辺にはヤブツバキクラス域上部の自然植生であるミヤマシキミアカガシ群集が比較的まとまって分布している。特にシラキーブナ群集は、九州西部では背振山地や多良岳山系、雲仙岳にのみ分布するとされており、九州西部においては希少な存在である。

これらの自然植生は小面積であり断片的な林分であるが、いずれも自然性の高い群落であり、九州西部にわずかに残存する貴重な植物群落となっている。

(2) 保護林の気候・地形・地質

気候：標高 847m の山頂付近：冷温帯（ブナクラス域）・ブナ林

標高 400m～847m：移行帯・アカガシ林

標高 400m 以下：暖温帯：シイ林

年間降水量：約 2,070mm ※市街地

山頂付近の年平均気温：約 15.7℃ ※市街地

地形：1,000m 級の背振山系の一部をなす大起伏山地

(九千部山 848m、石谷山 754m)

地下の花崗岩塊が断層活動によって隆起した断層山地

地質：花崗岩

(3) 設定保護林種名及び妥当性

ア. 設定保護林種名

表 4-2-1 に示す群落は、次に説明するとおり、以下の基準に適合する群落であることから、『植物群落保護林』に指定することが適当である。

『植物群落保護林』の目的及び基準	
【目的】	植物群落保護林は、我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施行・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。
【設定基準】	次に掲げる基準を満たすもののうち、特に保護を必要とする区域を植物群落保護林の候補地とする。
	<ol style="list-style-type: none"> (1) 稀少化している植物群落が存在する地域 (2) 全国的には比較的一般的な植物群落であるが、分布限界等に位置する植物群落が存在する地域 (3) 湿地、高山等、特殊な立地条件の下に成立している植物群落が存在する地域 (4) 歴史的、学術的に価値の高いものとして伝承されてきた巨木等が存在する地域 (5) その他保護が必要と認められる植物群落及び個体が存在する地域

表 4-2-1 植物群落保護林設定が適当と考えられる群落

群落名	概要
シラキーブナ群集	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナクラス域自然植生の落葉広葉樹自然林。 ・保護林区域(案)内では石谷山から九千部山に至る稜線沿い、九千部山南東側の斜面上部の2箇所でも面積の群落が分布する。
アカシデーヌシデ群落	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナクラス域代償植生の落葉広葉樹二次林。 ・保護林区域(案)内では九千部山山頂周辺の斜面上部において広く分布する。
ミヤマシキミーアカガシ群集	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤブツバキクラス域自然植生であり、ヤブツバキクラス域上部に成立する常緑広葉樹自然林。 ・保護林区域(案)内では石谷山付近の尾根部から斜面上部に多く、ほかに九千部山南側から東側にかけての尾根部に分布する。
アカガシ二次林	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤブツバキクラス域代償植生であり、山地の萌芽再生したアカガシが優占する常緑広葉樹二次林。 ・保護林区域(案)内では石谷山周辺の斜面中腹などに分布する。
アカマツ群落	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤブツバキクラス域代償植生であり、尾根部や斜面上部に分布する常緑針葉樹二次林。 ・保護林区域(案)内では九千部山北東部の尾根筋にわずかに分布する。

イ. 妥当性

《 自然植生について 》

保護林区域(案)の主に南側の石谷山周辺の尾根筋から斜面上部にかけてはヤブツバキクラス域自然植生のミヤマシキミーアカガシ群集がまとまって分布している。また、主に石谷山から九千部山にかけての稜線部においてはブナクラス域自然植生のシラキーブナ群集が分布している。これら自然林の斜面下方にはスギ・ヒノキ植林などの代償植生が広がっており、自然林は尾根筋から斜面上部にわずかに残存する状態となっている。

シラキーブナ群集は規模が小さく、断片的であるが、九千部山周辺では極めて希少な群落となっている。この群落は、特定植物群落に指定されていることから、設定基準の(1)に該当し、植物群落保護林としての指定が適当である。また、ミヤマシキミーアカガシ群集は、萌芽したアカガシが見られ、二次林的な性格が強いものの、大径木が生育する比較的良好な状態が維持されており、表 4-2-2 に示すとおり特定植物群落にも指定されていることから、設定基準の(1)に該当し、植物群落保護林としての指定が適当である。

表 4-2-2 保護林区域(案)内に分布する特定植物群落(資料：植物文献-九 1)

県	No.	群落名等	概要
佐賀	1	九千部山のブナ、アカガシ林	・九千部山～石谷山の斜面上部、尾根 ・ブナとアカガシの混交樹林

注) 表中の No. は文献資料中の番号を示す。

《 代償植生について 》

保護林区域(案)の九千部山周囲の稜線から斜面上部にかけては、イヌシデを主とする落葉広葉樹林のアカシデーヌシデ群落広がっている。カナクギノキやヤマボウシ、リョウブ、コナラ、ブナ等が混生するブナクラス域代償植生である。福岡県レッドデータブックでは、アカシデーヌシデ群落には山地性の貴重種が非常に多く、環境変化に適応できないものも多いとし、同群落を保存が望まれる群落としてあげており、九千部山地域においても希少な植生である。

そのほか代償植生としては、九千部山北東部の尾根部にアカマツ群落、石谷山の西側尾根部にアカガシ二次林が分布している。いずれも小規模の群落であるが、アカマツ群落については福岡県レッドデータブックにおいて、マツクイムシによる枯損等により減少し、県内における希少な群落としてあげられている。

このような稜線付近の二次林は、上記のブナ林やアカガシ林といった自然林を取り囲むように分布し、断片的・小面積で脆弱な自然林とともに一帯となった樹林地を形成しており、自然林を含めた樹林地の連続性を確保する区域として位置付けられる。これらの稜線付近の二次林を自然林と一体的に植物群落保護林とすることで、断片的な自然林の保護となり、さらに将来これらの二次林が自然林へと遷移が進むことも想定される。そのため、これら稜線付近に位置する二次林は、設定基準(5)に該当するとして植物群落保護林に指定することが適当である。

(4) 保護林の名称及び妥当性

ア. 名称

「九千部山植物群落保護林」

イ. 妥当性

対象地域は、自然植生(自然性の高い植物群落)が存在する地域として、登山者・地元住民に有名な山岳地であることから、この山の名称と植物群落保護を組み合わせた名称が適当である。

(5) 面積

九千部山地域における保護林区域(案)の面積は 85.08ha である。林班ごとの面積は表 4-2-3 に示すとおりである。

表 4-2-3 九千部山地域・保護林区域(案)林班別面積一覧

●九千部山地域

佐賀森林管理署管内

林班	3	4	5	8	合計
面積(ha)	47.16	23.75	11.02	3.15	85.08

注) 佐賀森林管理署管内の調査範囲総面積は88.7haである

※ : 部分的に保護林区域に含めた小班。面積はGISにより計測した数値を示す。その他の面積は、GISによる計測後に森林調査簿の小班面積に合わせて調整した数値を示す。

※九千部山地域のすべての林班は貸付地を含んだ面積を示す。

(6) 小班別の面積及びその林況

小班別の面積及び小班内の植物群落の面積は表 4-2-4 に示すとおりである。

表 4-2-4 九千部山地域・保護林区域(案)小班別面積一覧表

群落番号	林班	3				4		5	8	合計
	小班	イ	つ	と	れ	た	ぬ	か	る	
	林況	データなし	複針広	天広	天広	複広	針広	天広	天広	
	備考									
	群落名称	群落面積(ha)								
1	シラキ-ブナ群集	0.00	0.00	0.13	0.14	0.51	0.00	0.00	0.00	0.78
6	アカシデ-イヌシデ群落	3.44	8.29	5.57	22.21	15.97	0.00	0.00	0.00	55.49
10	ミヤマシキミ-アカガシ群集	0.00	1.22	3.25	0.00	3.10	4.17	11.02	1.25	24.01
28	アカガシ二次林	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.87	1.87
33	アカマツ群落	0.00	0.18	0.00	1.57	0.00	0.00	0.00	0.00	1.75
55	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03
k	市街地等	0.52	0.00	0.00	0.64	0.00	0.00	0.00	0.00	1.16
面積合計		3.96	9.69	8.95	24.56	19.58	4.17	11.02	3.15	85.08

注) 佐賀森林管理署内の調査対象地域総面積は 88.7ha である。

注) : 部分的に保護林区域に含めた小班。面積はGISにより計測した数値を示す。その他の面積は、GISによる計測後に森林調査簿の小班面積に合わせて調整した数値を示す。

注) 3 林班イ小班・れ小班、4 林班ぬ小班・た小班、5 林班か小班、8 林班る小班は貸付地を含んだ面積を示す。

(7) 保護林区域の妥当性

ア. 保護林の区域

保護林区域は図 4-2-1 保護林区域(案)に示すとおりである。

イ. 妥当性

《 自然植生 》

自然植生の林分(自然林)については、ほとんどが小面積・断片的な林分であることから、これらの存続のためには基本的に調査対象地域内のすべての林分(区域)を保護林とすることが、当該地域では適当である。

《 代償植生 》

代償植生の林分(二次林)については、小面積・断片的な自然林と一帯となった樹林

地を形成し、自然林を取り囲む林分を指定することを基本とし、さらに自然林の稜線上における連続性を確保するように区域を設定することとした。

なお、4林班ぬ小班の一部(スギ・ヒノキ・サワラ植林)は除外した。

(8) 植物相及びその特徴

九千部山が含まれる背振山地の標高 800m 付近以上の山上はブナクラス域に含まれ、ブナやシデ類等からなる夏緑広葉樹林が見られる。下方にはヤブツバキクラス域のアカガシやウラジログシ等からなる常緑広葉樹林が見られ、夏緑広葉樹と常緑広葉樹が混生した林分も見られる。ブナやイヌシデ、イタヤメイゲツ(コハウチワカエデ)、ウラジロノキ、タンナサワフタギ等の落葉広葉樹のほか、アカガシやウラジログシ、ミヤマシキミ、ヒサカキ等の常緑広葉樹が生育し、林床にはウンゼンカンアオイ、シシガシラ、ツルアリドオシ、ヤブコウジ等が生育している。

(9) 動物相及びその特徴

背振山地では、九千部山などの標高 800m 付近以上のわずかな山上部において温帯に属するブナ林が見られ、それ以下の山地は暖帯のシイ類やカシ類の照葉樹林が広がる。このわずかに残る自然林は、サシバやハヤブサ、アカヤマドリ、カッコウ、ホトトギス、アオゲラ等の山地性鳥類の生息地や繁殖地となっている。また、脊振山地には、イマサカナゴミムシ、オニクワガタ等の山地性の昆虫類が生息している。そのほか、九千部山周辺では大木川源流部において両生類のブチサンショウウオの生息が知られている。

(10) 森林保護上の課題

ア. 保護に関する事項

九千部山地域は、佐賀県内では身近で登山が楽しめる山として地元登山家に人気が高く、稜線部は「レクリエーションの森」に指定されているほか、稜線上には「九州自然歩道」が通っており、人の立ち入りが多い地域である。そのため、林内への人の立ち入りによる植生荒廃が起りやすい。

自然林のシラキーブナ群集では一部に風倒木の多い箇所が見られた(プロット No. 3)。シラキーブナ群集は小面積・断片的な林分が孤立した状態で存在しており、周囲を二次林に囲まれている。倒木により生じたギャップ(林冠欠所)では、ブナの種子供給量が少なく、二次林構成種や暖温帯種の侵入による更新阻害などによって、ブナ林としての維持が困難になる可能性がある。そのほか、温暖化などの大気候レベルの要因なども加わり、シラキーブナ群集が縮小する可能性がある。

イ. 管理に関する事項

希少植物の盗掘防止や林内への立ち入り制限を示したサインボードの設置、地元自治体・住民への適切なインフォメーションといった普及啓発の実施が望まれる。

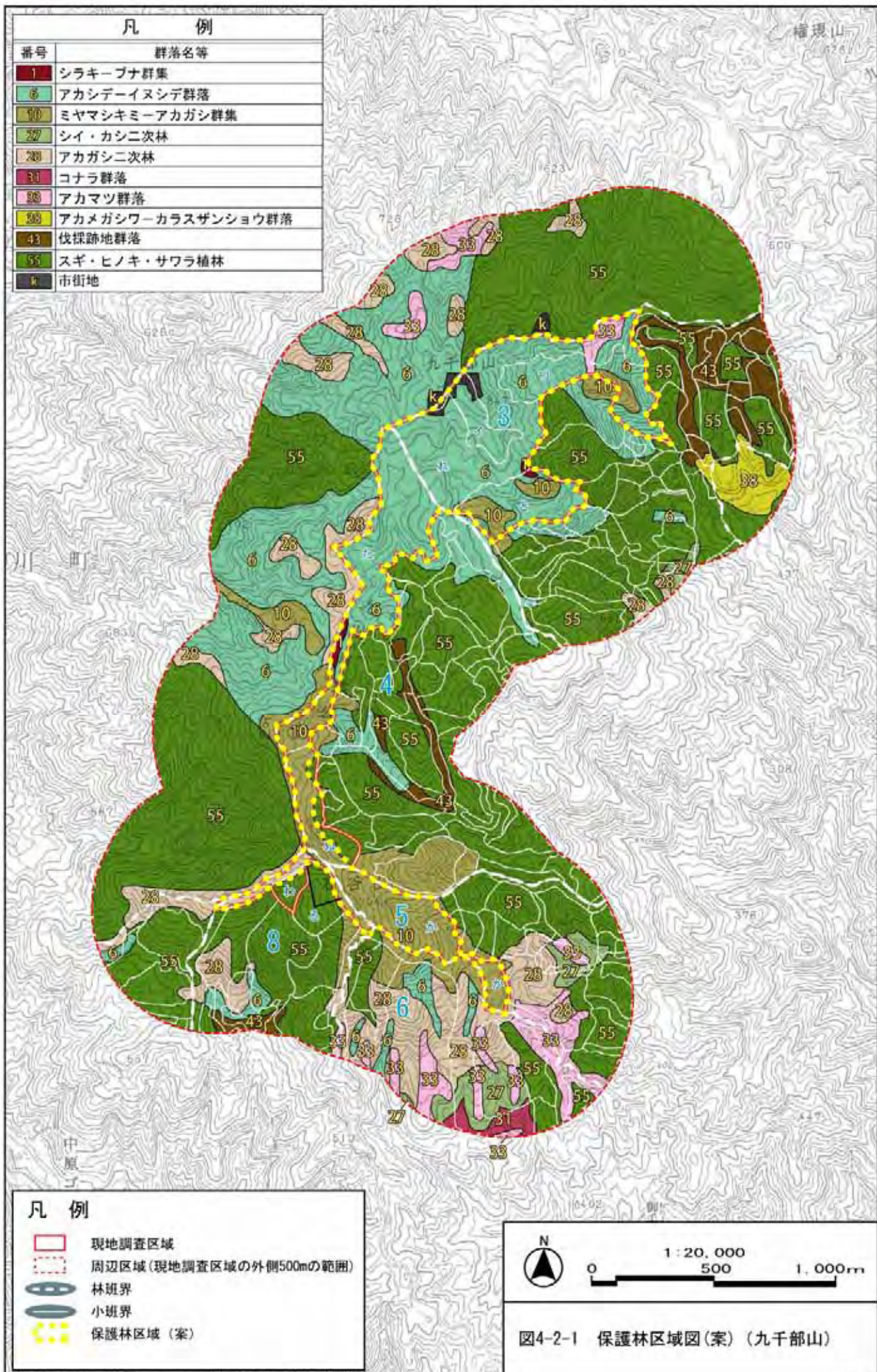
特に自然植生のシラキーブナ群集については、後継木の生育量などの更新状況、台風や人の立ち入り等の被害状況などの確認を目的としたモニタリング調査を実施し、ブナの実生や稚樹の育成、更新を阻害する植物の除去といった維持管理を検討し、必

要に応じて実施することが望まれる。

そのほかの自然植生(ミヤマシキミーアカガシ群集)及び二次林(アカシデーイヌシデ群落、アカガシ二次林、アカマツ群落)については、基本的に現状維持のままでよいが、人の立ち入り等による植生の変化などについて、モニタリング調査によって監視していくことが望まれる。

ウ. その他

本業務では、本来植生調査に適さない2月、3月に現地調査を実施している。保護林の適切な設定に必要なデータは得られたが、今後の保護や管理の基礎資料としての科学的な現況データは不足している。今後、適期の植生調査など、適切な保護林モニタリングの実施が望まれる。



5. 資料編

5-1 基礎調査結果(様式1、2)

(1) 多良岳山系地域

様式1

資料調査整理表

地域名	多良岳山系調査地域					調査分野 入手先・保管場所等 その他備考
	文献コード	森林調査		動物調査		
		5年内	5年以前	5年内	5年以前	
第2回自然環境保全基礎調査 (特定植物群落調査報告書)	植物文献- 多1		○			発行年:昭和53年 調査年:昭和53年 編著者:環境庁 長崎県 (7:経ヶ岳山頂部ツクシシャクナゲ個 体群) (8:多良・笹岳のアサマツゲ個体群) (10:多良のセンダイソウ群落) (11:多良岳のミズキーウリノキ群落) (12:五家原岳山頂部のモミ個体群) 佐賀県 (37:経ヶ岳のツクシシャクナゲ群落) (38:経ヶ岳の自然林)
第3回自然環境保全基礎調査 (特定植物群落調査報告書)追 加調査・追跡調査	植物文献- 多2		○			発行年:昭和63年 調査年:昭和60年 編著者:環境庁 (植物文献-多1の追跡調査)
多良岳の生物	植物文献- 多3		○		○	発行年:平成13年 編著者:長崎県生物学会 (多良山系の植物相・植生、動物相)
長崎県の生物	植物文献- 多4		○		○	発行年:平成元年 編著者:長崎県生物学会 (九州西部のアカガシ林、モミ林の自 然林群落の典型像の把握を目的とし た報告)
日本植生誌 九州	植物文献- 多5		○			発行年:昭和56年 編著者:宮脇昭 (九州地方、長崎県の植生解説)
九州西部森林植生の植物社 会学的研究Ⅱ. アカガシおよ びモミ自然林について (長崎大学教養部紀要, 自然 科学)	植物文献- 多6		○			発行年:昭和49年 調査年:昭和43~48年 編著者:伊藤秀三 (九州西部のアカガシ林、モミ林に ついての自然林群落の典型像の把 握を目的とした報告)

資料調査整理表

地域名	多良岳山系調査地域					調査分野 入手先・保管場所等 その他備考
	文献コード	森林調査		動物調査		
		5年内	5年以前	5年内	5年以前	
生態地理学上注目すべき長崎県の植物群落(2) (長崎県生物学会誌 No.49)	植物文献-多7		○			発行年:平成10年 編著者:伊藤秀三 (五家原岳ツクシヤクナゲ群落) (多良岳～経ヶ岳の落葉樹林)
多良山系タハラギ山一帯のブナ (佐賀の植物 No.27)	植物文献-多8		○			発行年:平成3年 調査年:平成2～3年 編著者:庭木信昌、小池英毅 (タハラギ山一帯のブナの分布と植生調査)
多良岳・経ヶ岳自然環境調査報告書	植物文献-多9		○		○	発行年:平成11年 調査年:平成10年 編著者:新日本気象海洋株式会社 (多良岳県立自然公園地域の多良岳・経ヶ岳を中心とした自然林区域の野生生物生育・生息状況調査報告)
日本の植生 第4回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(全国版)	植物文献-多10		○			発行年:平成9年 編著者:環境庁自然保護局 (現在の植生からみた自然環境とその経年的動態について明らかにすることを目的として実施。衛星画像解析による植生改変地データ、現地調査と資料調査による、既存の1/50,000現存植生図の経年変化状況の把握と総合的な解析の実施。)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	経ヶ岳山頂部付近 (12林班 イ小班など)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:長崎県立長崎南高等学校 都地啓介、花岡哲、中村隆一、萩原清成
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県)「7:経ヶ岳山頂部のツクシシャクナゲ個体群」 多良岳山頂近く(1000m付近)のツクシシャクナゲ個体群の生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・100㎡の範囲で16本 ・2地点で調査が実施されている。 ・1地点は亜高木層の高さは8m、アカガシが優占し、5mの低木層にツクシシャクナゲが生育する。ツクシシャクナゲの被度・群度は「2・2」。 ・もう1地点はクマシデの高木層の下層5mにツクシシャクナゲが生育する。被度・群度は「1・1」。 ・ほかにリョウブ、シキミ、ハイノキ、ドウダンツツジ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はE郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの、G(乱獲その他人為の影響によって、極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	笹岳 (11林班 い小班など)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:長崎県立長崎南高等学校 都地啓介、花岡哲、中村隆一、萩原清成
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県)「8:多良・笹岳のアサマツゲ個体群」 アサマツゲ個体群の生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・150㎡の範囲で15本 ・1地点で調査が実施されている。 ・高さは10mの高木層はアカガシが優占し、高さ8mの亜高木層にアサマツゲが生育する。アサマツゲの被度・群度は「2・3」。 ・ほかにシキミ、ミズキ、ヤブツバキ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はG(乱獲その他人為の影響によって、極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	黒木の谷 (11林班 い小班)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:長崎県立長崎南高等学校 都地啓介、花岡哲、中村隆一、萩原清成
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県)「10:多良のセンダイソウ群落」 センダイソウの生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2地点で調査が実施されている。 ・1地点は高さ2mのウリノキ、ウツギが生育し、下層にセンダイソウが群生する(被度・群度は「4・4」。 ・もう1地点は高さ2mのサンショウやウツギが生育し、下層にセンダイソウが群生する(被度・群度は「3・3」。
課題・留意点 その他	<p>特定植物群落としての選定基準はC(比較的普通に見られるものであっても、南限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北限・隔離分布頭分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	八丁杉上部 (1林班 か小班など. 黒木から金泉寺への登山道の途中)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:長崎県立長崎南高等学校 都地啓介、花岡哲、中村隆一、萩原清成
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県)「11:多良岳のミズキーウリノキ群落」 ミズキ優占林の状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1地点で調査が実施されている。 ・高さ10m亜高木層にミズキが優占し(被度・群度「3・3」)、ヤマザクラやケヤキ、アカメガシワ等が生育する。低木層にはネズミモチやアオキ、草本層にはコガクウツギ、アオキ、ハイノキ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はA(原生林もしくはそれに近い自然林)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	五家原岳 (2林班 り小班など)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:長崎県立長崎南高等学校 都池啓介、花岡哲、中村隆一、萩原清成
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県)「12:五家原岳山頂部のモミ个体群」 モミ个体群の生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2地点で調査が実施されている。 ・1地点は高さ20mのモミが生育し、高さ10mの亜高木層にクマシデ、ミズナラ等が生育する。モミの被度・群度は「2・2」。 ・もう1地点は高さ15m以上のモミが生育し、高さ15mの亜高木層にミズナラ、リョウブ等が生育する。モミの被度・群度は「2・2」。 ・ほかにコハウチワカエデ、ハイノキ、シキミ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はA(原生林もしくはそれに近い自然林)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	経ヶ岳 (1067林班 よ小班)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:佐賀県植物友の会 岩村政浩ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(佐賀県)「37:経ヶ岳のツクシシャクナゲ群落」 ツクシシャクナゲ群落の生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ13mのブナが生育し、高さ7mの亜高木層にツクシシャクナゲが優占する。ツクシシャクナゲの被度・群度は「3・4」。高さ0.8mの草本層にも被度・群度「1・2」で生育する。 ・ほかにシロモジ、リョウブ、ソヨゴ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はA(原生林もしくはそれに近い自然林)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多1
地域名	多良岳山系地域
調査地等	経ヶ岳（笹岳、西岳の西側）
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:佐賀県植物友の会 岩村政浩ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(佐賀県)「38:経ヶ岳の自然林」 モミ-シキミ群集、シオジ、ツクシシヤクナゲ、シロドウダン等の生育する自然林の 生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	・高さ22mのモミ、アカガシが生育し、高さ8mの亜高木層にシキミ、ヤブツバキ、高 さ2mの低木層にはハイノキ、シキミ等が生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はA(原生林もしくはそれに近い自然林)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多2
地域名	多良岳山系地域
調査地等	経ヶ岳、笹岳、五家原岳、八丁杉など
文献概要	
文献名	第3回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和63年 調査年:昭和60年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:(長崎県)県立長崎南高校 花岡哲ほか (佐賀県)佐賀県植物友の会 倉成靖任ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(長崎県) 「7:経ヶ岳山頂部のツクシヤクナゲ」、「8:多良笹岳のアサマツゲ」、「10:多良のセンダイソウ群落」、11:多良岳のミズキ林 特定植物群落(佐賀県) 「37:経ヶ岳のツクシヤクナゲ群落」、「38:経ヶ岳の自然林」 の追跡調査
調査項目・ 調査方法等	変化状況の確認
結果概要	・いずれも面積、群落構成ともに著しい変化はなしとされている。
課題・留意点 その他	

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多3
地域名	多良岳山系地域
調査地等	多良岳山系
文献概要	
文献名	多良岳の生物
発行年・調査年	発行年:平成13年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:長崎県生物学会 調査者:長崎大学教育学部 中西弘樹、長崎県自然保護課 千々布義朗、 諫早東高校 桃下大、長崎北陽台高校 田中清 ほか
資料の概要・ 調査要旨	「多良山系のシダ植物」、「多良山系の種子植物」、「多良山系の岩場の植物」、「多良山系のラン科植物」、「多良山系の植生」などの項目を収録。 多良山系の代表的な植物や植生、特徴的な植物や植生などが記述されている。 そのほか、多良山系のクモ類や昆虫類、淡水魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類などについて記述されている。
調査項目・ 調査方法等	—
結果概要	—
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多4
地域名	多良岳山系地域
調査地等	多良岳山系を含む長崎県全域
文献概要	
文献名	長崎県の生物
発行年・調査年	発行年:平成元年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:長崎県生物学会 調査者:長崎大学教育学部 中西弘樹、諫早高校 宮崎正隆、諫早高校 桃下大、 長崎北陽台高校 江島正郎 ほか
資料の概要・ 調査要旨	「長崎県の森林植生」、「長崎県の種子植物」、「長崎県の哺乳類」、「長崎県の鳥類」などの項目を収録。 長崎県内の代表的な動植物、特徴的な動植物の解説。
調査項目・ 調査方法等	—
結果概要	—
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多5
地域名	多良岳山系地域
調査地等	長崎県ほか九州地方
文献概要	
文献名	日本植生誌 九州
発行年・調査年	発行年:昭和56年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:— 調査者:横浜国立大学 宮脇昭、長崎大学 伊藤秀三、 横浜国立大学 奥田重俊ほか
資料の概要・ 調査要旨	九州地方に分布する植物群落の解説。 各県の植生概要の解説。
調査項目・ 調査方法等	植生調査ほか
結果概要	—
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多6
地域名	多良岳山系地域
調査地等	多良岳を含む九州西部(雲仙から対馬北部)
文献概要	
文献名	九州西部森林植生の植物社会学的研究Ⅱ. アカガシおよびモミ自然林について
発行年・調査年	発行年:昭和49年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:長崎大学ほか 調査者:伊藤秀三、長崎県島原高校 川下勉、堀田浩、長崎県自然保護課 川里弘 孝ほか
資料の概要・ 調査要旨	九州西部のアカガシまたはモミの優占群落の自然林群落の典型像の把握を目的とした調査。
調査項目・ 調査方法等	植生調査
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アカガシ-ミヤマシキミ群集 九州本島では海拔450m以上、対馬では300m以上950mまでの山地の斜面及び広い尾根上に発達する。スダジイ亜群集は海拔範囲の下半部に、ハインキ亜群集は上半部に成立する。 ・モミーシキミ群集 全国的視野に立てば、アセビ・ヒイラギを欠く。ウラジロガシ亜群集は、低海拔地の河川屈曲部または合流部の平坦地または緩傾斜地に発達する。アカガシ亜群集はアカガシ林域の山地の急斜面や尾根上に成立し、組成上はアカガシ-ミヤマシキミ群集にモミやカヤが加わった形の群落である。ガクウツギ亜群集は雲仙の海拔950~1,100mに発達する。ヤブツバキクラス域と夏緑林域の移行帯に成立し、多くの落葉樹を含む。
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多7
地域名	多良岳山系地域
調査地等	多良岳、経ヶ岳等
文献概要	
文献名	生態地理学上注目すべき長崎県の植物群落(2)
発行年・調査年	発行年:平成10年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:長崎県生物学会 調査主体:長崎大学 伊藤秀三
資料の概要・ 調査要旨	長崎県の九州本島側の生態地理学上注目すべき植物群落
調査項目・ 調査方法等	植生調査など
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・五家原岳ツクシシヤクナゲ群落(県指定天然記念物) ・多良岳ツクシシヤクナゲ群落(国指定天然記念物) <p>上記2箇所では、ツクシシヤクナゲが多産する。後者の生育地はツガーツクシシヤクナゲ群落で、海拔620m。やせ尾根上での組成は、高さ10mの高木層にツガ、アカマツ等が生育し、高さ6mの亜高木層にツクシシヤクナゲ、ネジキ等、高さ1.8mの低木層にツクシシヤクナゲ、ネジキ等が生育する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多良岳のケヤキ群落(小松公園～金泉寺間の谷筋) <p>県下ではケヤキ自然林の残存は極めて少ない。大木(胸高直径40～60cm)を含む残存自然林。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多良岳～経ヶ岳の落葉樹林(多良岳～経ヶ岳一帯) <p>多良岳の山頂部一帯に発達する落葉樹林は日本列島最西端の落葉樹林として注目されなければならない。ここを分布の西限地とする植物(ブナ、マンサク、ツガ)、隔離分布種(オオキツネノカミソリ、ヤマシヤクヤク)もある。</p>
課題・留意点 その他	・多良岳～経ヶ岳の落葉樹林については、詳しい群落調査が必要とされている。

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多8
地域名	多良岳山系地域
調査地等	タワラギ山
文献概要	
文献名	多良山系タハラギ山一帯のブナ
発行年・調査年	発行年:平成3年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:佐賀植物友の会 調査主体:庭木信昌、小池英毅
資料の概要・ 調査要旨	タハラギ山(タワラギ山)のブナの分布、植生調査
調査項目・ 調査方法等	植生調査など
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地点1:中山峠からの登山道と平谷からの登山道の合流部付近(海拔1,000m) ブナが点在(胸高直径25~30cm、樹高6~8m) ・地点2:北東側の海拔1,300m付近 ブナ12本(20m×20m)、胸高直径40~57cm、樹高8~12m ・地点3:地点2横 ブナの胸高直径18~53cm ・地点4:地点2横 ブナ20本、胸高直径21~69cm
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多9
地域名	多良岳山系地域
調査地等	多良岳～経ヶ岳(主に佐賀県側)
文献概要	
文献名	多良岳・経ヶ岳自然環境調査報告書
発行年・調査年	発行年:平成11年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:佐賀県 調査主体:新日本気象海洋株式会社
資料の概要・ 調査要旨	自然環境調査重点地区として、鹿島市及び太良町に位置する多良岳県立自然公園区域のうち、多良岳及び経ヶ岳を中心とした自然林の区域において、野生動植物の生息状況等を把握することを目的とする。
調査項目・ 調査方法等	動植物調査、植生調査など
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・植物現地調査の結果、ツガ、ヤシヤブシ、ワチガイソウ等29種の貴重種が確認されている。 ・植生調査では、シラキープナ群集、コハウチワカエデーケクロモジ群集、山頂部風衝低木群落、ツクシヤクナゲ群落、アカシデーイヌシデ群落、モミーシキミ群集、アカガシーミヤマシキミ群集、ケヤキ群落、アカガシ萌芽林、伐採跡地、スギ・ヒノキ植林などが確認されている。
課題・留意点 その他	<p>自然環境保全地域の指定に向けての課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有、権利西限等の情報の整理 ・関係機関との協議・調整 ・県立自然公園からの移行 ・保全のための施設の検討

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-多10
地域名	多良岳山系地域
調査地等	日本全国
文献概要	
文献名	日本の植生
発行年・調査年	発行年:平成9年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境省 調査主体:都道府県委託調査ほか
資料の概要・ 調査要旨	現在の植生からみた自然環境とその経年的動態について明らかにすることを目的として実施。衛星画像解析による植生改変地データ、現地調査と資料調査による、既存の1/50,000現存植生図の経年変化状況の把握と総合的な解析の実施。
調査項目・ 調査方法等	衛星画像解析、資料調査、現存植生図の修正・補完
結果概要	・都道府県の代表的な植生の現況、改変状況など
課題・留意点 その他	—

(2) 九千部山地域

様式 1

資料整理表

地域名	九千部山地域					
	文献コード	森林調査		動物調査		調査分野 入手先・保管場所等 その他備考
		5年内	5年以前	5年内	5年以前	
第2回自然環境保全基礎調査 (特定植物群落調査報告書)	植物文献- 九1		○			発行年:昭和53年 調査年:昭和53年 編著者:環境庁 (1:九千部山のブナ・アカガシ林) (2:九千部山のホソバシヨリマ群落)
第3回自然環境保全基礎調査 (特定植物群落調査報告書)追加調査・追跡調査	植物文献- 九2		○			発行年:昭和63年 調査年:昭和60年 編著者:環境庁 (植物文献-九1の追跡調査)
佐賀県の生物	植物文献- 九3		○		○	発行年:平成8年 編著者:佐賀県生物部会 (佐賀県の植物相・植生、動物相)
福岡県植物誌	植物文献- 九4		○			発行年:昭和50年 編著者:福岡県高等学校生物研究部 (九千部山に近接する脊振山地の植生解説)
日本植生誌 九州	植物文献- 九5		○			発行年:昭和56年 編著者:宮脇昭 (九州地方、佐賀県の植生解説)
日本の植生 第4回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(全国版)	植物文献- 九6		○			発行年:平成9年 編著者:環境庁自然保護局 (現在の植生からみた自然環境とその経年的動態について明らかにすることを目的として実施。衛星画像解析による植生変化地データ、現地調査と資料調査による、既存の1/50,000現存植生図の経年変化状況の把握と総合的な解析の実施。)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九1
地域名	九千部山地域
調査地等	九千部山山頂付近～石谷山(4林班 ぬ小班など)
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:佐賀植物友の会 江島龍也ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(佐賀)「1:九千部山のブナ・アカガシ林」 ブナ、アカガシが優占する自然林の生育状況確認
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	・高さ18mの高木層はブナが優占し、被度・群度は「4・4」。ほかにミズナラ、アカガシが生育する。高さ8mの亜高木層にはコハウチワカエデ、アカガシが生育する。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はA(原生林もしくはそれに近い自然林)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九1
地域名	九千部山地域
調査地等	九千部山南斜面海拔350m前後
文献概要	
文献名	第2回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和55年 調査年:昭和53年
著者・编者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:佐賀植物友の会 倉成靖任ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(佐賀):「2:九千部山のホソバシヨリマ群落」 ホソバシヨリマの生育状況確認調査
調査項目・ 調査方法等	植生調査及び特定植物群落の選定基準
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖市九千部山の南斜面海拔350m前後にホソバシヨリマの群落が生育する。生育地は幅10～40m、長さ150mの湿潤な谷間で、面積9～80㎡の群落が15ある。 ・2年前までスギの植林地でスギ林下に大群落を形成していたが、谷の南斜面を残して伐採されたため、谷南斜面下部のスギ林下及びその周辺では生育良好であるが他は乾燥と陽光により生育が良くない。 ・本県唯一の産地。
課題・留意点 その他	特定植物群落としての選定基準はB(国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群)

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九2
地域名	九千部山地域
調査地等	九千部山山頂付近～石谷山(4林班 ぬ小班など)、九千部山南斜面海拔350m前後
文献概要	
文献名	第3回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査報告書)
発行年・調査年	発行年:昭和63年 調査年:昭和60年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境庁 調査者:佐賀植物友の会 倉成靖任ほか
資料の概要・ 調査要旨	特定植物群落(佐賀) 「1:九千部山のブナ・アカガシ林」 「2:九千部山のホソバシヨリマ群落」 の追跡調査
調査項目・ 調査方法等	変化状況の確認
結果概要	いずれも面積、群落構成ともに著しい変化はなしとされている。
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九3
地域名	九千部山地域
調査地等	九千部山を含む佐賀県内
文献概要	
文献名	佐賀県の生物
発行年・調査年	発行年:平成8年 調査年:—
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:佐賀県生物部会 調査者:佐賀植物友の会、佐賀自然史研究会、佐賀野鳥の会、佐賀昆虫同好会ほか
資料の概要・ 調査要旨	佐賀県内の植物、動物の解説。 植物、植物群落、コケ植物、地衣類、鳥類、両生・爬虫類、魚類、昆虫類など
調査項目・ 調査方法等	—
結果概要	—
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九4
地域名	九千部山地域
調査地等	九千部山を含む福岡県内
文献概要	
文献名	福岡県植物誌
発行年・調査年	発行年:平成50年 調査年:—
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:福岡県高等学校生物研究部 調査者:—
資料の概要・ 調査要旨	福岡県内の主要な植物群落の解説、植物目録。
調査項目・ 調査方法等	—
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・九千部山に隣接する背振山地では、800～900m以上の尾根筋にブナ林が断続しながら分布する。その林床はミヤコザサで覆われていることが特徴的。 ・アカシデーイヌシデ群落はブナ林伐採後に生じた代償植生と考えられている。 ・アカガシ林は、約900mくらいの高所まであらわれ、ブナ林やシデ林にまざる。 ・支脈の尾根上にアカマツ林が分布。林内はシイ・カシ萌芽林となっている。 ・照葉樹林帯にあたる場所はほとんどがアカガシが多いシイ・カシ萌芽林。
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九5
地域名	九千部山地域
調査地等	佐賀県ほか九州地方
文献概要	
文献名	日本植生誌 九州
発行年・調査年	発行年:昭和56年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:— 調査者:横浜国立大学 宮脇昭、長崎大学 伊藤秀三、 横浜国立大学 奥田重俊ほか
資料の概要・ 調査要旨	九州地方に分布する植物群落の解説。 各県の植生概要の解説。
調査項目・ 調査方法等	植生調査ほか
結果概要	—
課題・留意点 その他	—

様式 2

文献概要調査表

文献コード	植物文献-九6
地域名	九千部山地域
調査地等	日本全国
文献概要	
文献名	日本の植生
発行年・調査年	発行年:平成9年
著者・編者・ 実施主体・ 調査実施団体等	実施主体:環境省 調査主体:都道府県委託調査ほか
資料の概要・ 調査要旨	現在の植生からみた自然環境とその経年的動態について明らかにすることを目的として実施。衛星画像解析による植生改変地データ、現地調査と資料調査による、既存の1/50,000現存植生図の経年変化状況の把握と総合的な解析の実施。
調査項目・ 調査方法等	衛星画像解析、資料調査、現存植生図の修正・補完
結果概要	・都道府県の代表的な植生の現況、改変状況など
課題・留意点 その他	—

5-2 現地調査結果 (様式3、4、5、6)

(1) 多良岳山系地域

・プロットNo.1～40

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、笛田、高尾

群落名 シキミーモミ群集 調査プロットNo. 1

調査実施 2010年3月1日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 302分 東経 130度 4. 367分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 950 m

方位 S60W 傾斜 25°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・斜面上部

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2400 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他	-落枝、倒木あり
	-
	-
	-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、笛田、高尾
 群落名 ツガ-ツクシシヤクナゲ群落 調査プロットNo. 2
 調査実施 2010年3月1日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所
 佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1067 林班 よ 小班

1 調査プロットの位置等
 北緯 32度 59. 302分 東経 130度 4. 333分
 測位系 WGS84

2 地況調査

標高 941 m
 方位 N45W 傾斜 40°
 表層地質 安山岩質岩石
 土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
 崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・斜面上部

車道からの距離 800 m
 集落からの距離 2400 m
 土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ
気象害等その他の被害	原因 -	被害の程度 -
	原因 -	被害の程度 -
その他	-	-
	-	-
	-	-
	-	-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、笛田、高尾

群落名 アカマツ群落 調査プロットNo. 3

調査実施 2010年3月1日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 3 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 333分 東経 130度 4. 231分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 825 m

方位 S30W 傾斜 20°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・斜面上部

車道からの距離 300 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他

-一部、岩地あり

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、高尾、笛田

群落名 アカガシ二次林 調査プロットNo. 4

調査実施 2010年3月1日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 する 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 350分 東経 130度 4. 215分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 814 m

方位 N15E 傾斜 15°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 300 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他
 -
 -
 -
 -

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 笛田、一野

群落名 アカシデ-イヌシデ群落 調査プロットNo. 5

調査実施 2010年3月2日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 片木山 国有林 1061 林班 ち 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 782分 東経 130度 4. 931分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1010 m

方位 WNW288° 傾斜 26°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 1200 m

集落からの距離 3000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 笛田、一野

群落名 シキミーモミ群集 調査プロットNo. 6

調査実施 2010年3月2日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1067 林班 よ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 677分 東経 130度 4. 841分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1025 m

方位 WNW292 傾斜 5°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 湿地

車道からの距離 1100 m

集落からの距離 2800 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因	被害の程度 皮はぎ
	原因 -	被害の程度 -

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -
	原因 -	被害の程度 -

その他

-

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 笛田、一野
 群落名 シラキ-ブナ群集 調査プロットNo. 7
 調査実施 2010年3月2日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所
 佐賀東部 森林計画区 片木山 国有林 1058 林班 か 小班

1 調査プロットの位置等
 北緯 32度 59. 621分 東経 130度 4. 868分
 測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1025 m
 方位 ENE68° 傾斜 15°
 表層地質 安山岩質岩石
 土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
 崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 1100 m
 集落からの距離 2800 m
 土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ
気象害等その他の被害	原因 -	被害の程度 -
	原因 -	被害の程度 -
その他	-	-
	-	-
	-	-
	-	-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原

群落名 ツガーツクシヤクナゲ群落 調査プロットNo. 8

調査実施 2010年3月3日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 483分 東経 130度 4. 532分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 890 m

方位 S66W 傾斜 26°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 600 m

集落からの距離 2300 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 強風 被害の程度 枝・枝先の枯死多い
原因 - 被害の程度 -

その他
-
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原

群落名 ミヤマシキミアカガシ群集 調査プロットNo. 9

調査実施 2010年3月3日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1067 林班 よ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 506分 東経 130度 4. 668分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 980 m

方位 N58W 傾斜 35°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2400 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他
-
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原

群落名 シキミ-モミ群集 調査プロットNo. 10

調査実施 2010年3月3日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 490分 東経 130度 4. 666分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 970 m

方位 W 傾斜 32°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 900 m

集落からの距離 2400 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他
-
-
-
-

調査林分概況表

保護林名／整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原
 群落名 シラキーブナ群集 調査プロットNo. 11
 調査実施 2010年3月3日

九州 佐賀 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所
 佐賀東部 森林計画区 片木山 国有林 1058 林班 か 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 618分 東経 130度 4. 850分
 測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1035 m
 方位 E 傾斜 16°
 表層地質 安山岩質岩石
 土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
 崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 湿地

車道からの距離 1100 m
 集落からの距離 2800 m
 土壌浸食度 No. 1? 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	-	被害の程度	-
	原因	-	被害の程度	-
気象害等その他の被害	原因	-	被害の程度	-
	原因	-	被害の程度	-
その他		-		
		-		
		-		
		-		

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原

群落名 ミヤマシキミ-アカガシ群集 調査プロットNo. 12

調査実施 2010年3月3日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 片木山 国有林 1058 林班 か 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 713分 東経 130度 4. 860分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1025 m

方位 S24W 傾斜 8°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面

車道からの距離 1100 m

集落からの距離 2800 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他
-
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山、井原

群落名 シキミ-モミ群集 調査プロットNo. 13

調査実施 2010年3月3日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 455分 東経 130度 4. 625分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 930 m

方位 S84W 傾斜 30°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2400 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -近隣にモミ枯死によるギャップあり
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、井原

群落名 シラキ-ブナ群集 調査プロットNo. 14

調査実施 2010年3月2日

九州 佐賀 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1066 林班 な 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 458分 東経 130度 4. 538分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1010 m

方位 N20W 傾斜 30°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 1100 m

集落からの距離 3000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、井原

群落名 ミヤマシキミ-アカガシ群集 調査プロットNo. 15

調査実施 2010年3月2日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 片木山 国有林 1058 林班 か 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 447分 東経 130度 4. 533分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1030 m

方位 E 傾斜 10°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 湿地

車道からの距離 1000 m

集落からの距離 2700 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、井原

群落名 ミヤマシキミ-アカガシ群集 調査プロットNo. 16

調査実施 2010年3月2日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1067 林班 よ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 358分 東経 130度 4. 503分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1040 m

方位 - 傾斜 -

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 湿地

車道からの距離 1200 m

集落からの距離 3100 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他 倒木あり

-

-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、一野、浅山

群落名 アカシデ-イヌシデ群落 調査プロットNo. 17

調査実施 2010年3月4日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 11 林班 ほ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58.696分 東経 130度 4.826分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 630 m

方位 S85W 傾斜 20°

表層地質 集塊岩および火山砕屑物

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 700 m

集落からの距離 2100 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 強風 被害の程度 枝・枝先の枯死多い
原因 - 被害の程度 -

その他 -谷川内岩石堆積、土壌はあまり無い
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、一野

群落名 シオジ群落 調査プロットNo. 18

調査実施 2010年3月4日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 11 林班 ほ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 690分 東経 130度 4. 795分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 615 m

方位 W 傾斜 12°

表層地質 集塊岩および火山砕屑物

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 600 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 谷川内、岩石堆積
-
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、一野

群落名 シオジ群落 調査プロットNo. 19

調査実施 2010年3月4日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 11 林班 ほ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 679分 東経 130度 4. 763分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 595 m

方位 S72W 傾斜 10°

表層地質 集塊岩および火山砕屑物

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 500 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 谷川内、岩石堆積
炭焼き跡有り
-
-

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 高尾、浅山、一野

群落名 ウラジログシ二次林 調査プロットNo. 20

調査実施 2010年3月4日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 11 林班 ほ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 671分 東経 130度 4. 703分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 610 m

方位 S60E 傾斜 42°

表層地質 集塊岩および火山砕屑物

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 400 m

集落からの距離 1800 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他
 -
 -
 -
 -

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、浅山、井原

群落名 リョウブーミズナラ群集 調査プロットNo. 21

調査実施 2010年3月5日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 2 林班 1 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 57. 457分 東経 130度 4. 527分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1015 m

方位 N60W 傾斜 40°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 200 m

集落からの距離 2600 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 巨石多数
近くにイノシシ掘り返し跡有り
-
-

調査林分概況表

保護林名／整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、浅山、井原

群落名 リョウブ-ミズナラ群集 調査プロットNo. 22

調査実施 2010年3月5日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 2 林班 り 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 57.461分 東経 130度 4.516分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1000 m

方位 N50W 傾斜 26°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪澗地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 200 m

集落からの距離 2600 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 巨岩多数
イノシシ掘り返し跡有り
 -
 -

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、浅山、井原

群落名 リョウブ-ミズナラ群集 調査プロットNo. 23

調査実施 2010年3月5日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 2 林班 り 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 57. 501分 東経 130度 4. 616分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1035 m

方位 N04E 傾斜 32°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 100 m

集落からの距離 2600 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 -
 -
 -
 -

調査林分概況表

保護林名／整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、浅山、井原

群落名 リョウブ-ミズナラ群集 調査プロットNo. 24

調査実施 2010年3月5日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 2 林班 り 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 57. 530分 東経 130度 4. 630分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1015 m

方位 N28W 傾斜 44°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 200 m

集落からの距離 2600 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 -
 -
 -
 -

調査林分概況表

保護林名／整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、浅山、井原

群落名 リョウブーミズナラ群集 調査プロットNo. 25

調査実施 2010年3月5日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 2 林班 り 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 57. 515分 東経 130度 4. 629分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1020 m

方位 N30W 傾斜 37°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 150 m

集落からの距離 2600 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 -
 -
 -
 -

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、高尾

群落名 ウリノキ-ミズキ群落 調査プロットNo. 26

調査実施 2010年3月8日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 ぬ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 289分 東経 130度 4. 214分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 753 m

方位 N60W 傾斜 20°

表層地質 安山岩質岩石 レキ、褐森、岩

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・**谷中部**

車道からの距離 400 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他
 -
 -
 -
 -

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、高尾
 群落名 ウリノキーミズキ群落 調査プロットNo. 27
 調査実施 2010年3月8日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所
 佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 ぬ 小班

1 調査プロットの位置等
 北緯 32度 59. 287分 東経 130度 4. 151分
 測位系 WGS84

2 地況調査

標高 715 m
 方位 N30W 傾斜 35°
 表層地質 安山岩質岩石
 土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
 崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・斜面,下部

車道からの距離 300 m
 集落からの距離 2000 m
 土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
 原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
 原因 - 被害の程度 -

その他 炭焼き小屋あり
 ガレ地
 -

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、高尾

群落名 ウラジロガシ二次林 調査プロットNo. 28

調査実施 2010年3月8日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 ぬ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 293分 東経 130度 4. 126分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 700 m

方位 S10E 傾斜 30°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・湿地

車道からの距離 200 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ○ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他	-	
	-	
	-	
	-	

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 井原、高尾

群落名 アカマツ群落 調査プロットNo. 29

調査実施 2010年3月8日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 ぬ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 330分 東経 130度 4. 105分

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 720 m

方位 S60W 傾斜 15°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 湿地

車道からの距離 200 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 (1) ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他

-

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 アカガシ二次林 調査プロットNo. 30

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1070 林班 ち 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 259分 東経 130度 03. 495

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 760 m

方位 N60W 傾斜 8°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根 ・ やせ尾根 ・ 山腹凸斜面 ・ // 凹斜面 ・ // 平衡斜面 ・ 三脚侵蝕面 ・ // 堆積面
崖錐 ・ 扇状地 ・ 洪涵地 ・ 沖積堆積地 ・ 洪積段丘 ・ 台地 ・ 谷中部

車道からの距離 1300 m

集落からの距離 1200 m

土壌浸食度 ① ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 皮はぎ

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -

その他

-

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 アカガシ二次林 調査プロットNo. 31

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1069 林班 り 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 233分 東経 130度 03. 943

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 850 m

方位 W 傾斜 15°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 1300 m

集落からの距離 1400 m

土壌浸食度 ① ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 アカガシ二次林 調査プロットNo. 32

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 367分 東経 130度 04. 376

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 880 m

方位 N14W 傾斜 34°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 600 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 ① ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 シキミーモミ群集 調査プロットNo. 33

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 333分 東経 130度 04. 436

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 870 m

方位 N32E 傾斜 32°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 700 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ ○ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 岩石多数
大雨時は雨水が流れる様子
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 山頂部風衝低木群落 調査プロットNo. 34

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 284分 東経 130度 04. 621

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1060 m

方位 N38W 傾斜 37°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 1000 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害	原因	被害の程度
	原因	被害の程度 皮はぎ
	原因 -	被害の程度 -

気象害等その他の被害	原因	被害の程度
	原因 -	被害の程度 -
	原因 -	被害の程度 -

その他

-

-

-

-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 山頂部風衝低木群落 調査プロットNo. 35

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 12 林班 イ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 245分 東経 130度 04. 569

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 1070 m

方位 S58W 傾斜 12°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 1000 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 シキミーモミ群集 調査プロットNo. 36

調査実施 平成22年3月16日

九州 森林管理局 佐賀 森林管理署 鹿島 森林事務所

佐賀東部 森林計画区 本城 国有林 1068 林班 わ 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 59. 279分 東経 130度 04. 503

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 970 m

方位 N44W 傾斜 28°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 岩屑性土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2000 m

土壌浸食度 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 転石多数
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 ウリノキーミズキ群落 調査プロットNo. 37

調査実施 平成22年3月17日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 1 林班 い 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 349分 東経 130度 04. 868

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 665 m

方位 N48W 傾斜 26°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 700 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ ○1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 礫堆積
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 ウリノキーミズキ群落 調査プロットNo. 38

調査実施 平成22年3月17日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 1 林班 い 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 322分 東経 130度 04. 896

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 690 m

方位 N36W 傾斜 24°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ ○1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 礫堆積
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 ウリノキーミズキ群落 調査プロットNo. 39

調査実施 平成22年3月17日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 1 林班 い 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 369分 東経 130度 04. 953

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 740 m

方位 N87W 傾斜 34°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 800 m

集落からの距離 2200 m

土壌浸食度 0 ・ ○1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 礫堆積
-
-
-

様式3

調査林分概況表

保護林名/整理番号 多良岳山系 担当者(所属:氏名) 一野、井原

群落名 アカシデ-イヌシデ群落 調査プロットNo. 40

調査実施 平成22年3月17日

九州 森林管理局 長崎 森林管理署 大村 森林事務所

長崎南部 森林計画区 萱瀬山 国有林 1 林班 ね 小班

1 調査プロットの位置等

北緯 32度 58. 426分 東経 130度 05. 129

測位系 WGS84

2 地況調査

標高 850 m

方位 N49W 傾斜 29°

表層地質 安山岩質岩石

土壌型分類 乾性褐色森林土壌

局所地形 平坦尾根・やせ尾根・山腹凸斜面・〃凹斜面・〃平衡斜面・三脚侵蝕面・〃堆積面
崖錐・扇状地・洪涵地・沖積堆積地・洪積段丘・台地・谷中部

車道からの距離 1000 m

集落からの距離 2500 m

土壌浸食度 ① ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

3 林分等に関する特記事項

病中獣害 原因 被害の程度 皮はぎ
原因 - 被害の程度 -

気象害等その他の被害 原因 - 被害の程度 -
原因 - 被害の程度 -

その他 -
-
-
-

様式4

植生調査票

No. 1	(地図)	(海拔)	950m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	S60W		
(地形) 斜面上部	(日当) 陽(中)・陰	(傾斜)	25°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×40 m ²		
(付近の植生) シキミ-モミ群集		(出現種数)	12		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミ	15 ~ 20m	60%	20~76cm	3
T2(亜高木層)	アカガシ	10 ~ 15m	80%	10~20cm	3
S(低木1層)	ヤブツバキ	5 ~ 8m	30%	2~10cm	5
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 3m	40%	~2cm	6
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 0.5m	30%	-	12

2010年3月1日 調査者:井原、三笠、笛田

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		3・3		モミ			+・2		ツルマサキ					
		2・2		アカガシ			+・2		コガクウツギ					
		1・1		ヒメシャラ			+		シュスラン					
							+		シシガシラ					
							+		ウラジロ					
T2		4・4		アカガシ			+		アオキ					
		1・1		モミ			+		シロダモ					
		1・1		サカキ										
S1		2・2		ヤブツバキ										
		1・1		ネジキ										
		1・1		アカガシ										
		+		ヒサカキ										
		+		シキミ										
S2		3・3		ハイノキ										
		2・2		ミヤマシキミ										
		1・1		ヤブツバキ										
		+		ヒサカキ										
		+		モミ										
		+		シキミ										
H		2・2		ミヤマシキミ										
		1・1		ハイノキ										
		+		シキミ										
		+		アカガシ										
		+		カンアオイ属sp.										

様式4

植生調査票

No. 2	(地図)	(海拔)	941m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 弱・中・弱	(方位)	N45W		
(地形) 斜面上部	(日当) 陽・中・陰	(傾斜)	40°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×30 m ²		
(付近の植生) ツガ-ツクシシャクナゲ群落			(出現種数)	28	
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ツガ	10 ~ 15m	70%	20~52cm	7
T2(亜高木層)	タカノツメ	5 ~ 8m	30%	2~20cm	6
S(低木1層)	ハイノキ	1 ~ 3m	80%	~2cm	16
(低木2層)		~			
H(草本層)	コガクウツギ	0 ~ 1m	20%	-	15

2010年3月1日 調査者:井原、三笠、笛田

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		ツガ			+		ツガ					
		2・2		アカガシ			+		ヒサカキ					
		1・1		イヌシデ			+		アオハダ					
		+		ツゲモチsp.			+		イヌガシ					
		+		リョウブ			+		クロモジ属sp.					
		+		タカノツメ			+		イヌシデ					
		+		ヤドリギ	H		+		ミツバツツジsp.					
							1・1		シキミ					
							2・2		ハイノキ					
							+		ツガ					
T2		1・1		ネジキ			+		ソヨゴ					
		2・2		タカノツメ			+		シシガシラ					
		1・1		アズキナシ			+		イヌツゲ					
		1・1		イヌシデ			+		コハウチワカエデ					
		1・1		リョウブ			+		モミ					
		+		ツゲモチ?			2・2		コガクウツギ					
							+		ヒサカキ					
							+		コウヤコケシノブ					
							+		ガマズミ属sp.					
							+		ウラジロガシ					
S1		5・4		ハイノキ			+		イヌシデ					
		2・2		ツクシシャクナゲ										
		1・1		イヌツゲ										
		1・1		シキミ										
		1・1		コハウチワカエデ										
		+		ソヨゴ										
		+		ヤマボウシ										
		+		リョウブ										
		+		アカガシ										
		+		サカキ										

様式4

植生調査票

No. 3	(地図)	(海拔)	825m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強中・弱	(方位)	S30W		
(地形) 斜面上部	(日当) 陽中・陰	(傾斜)	20°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾適・湿・過湿	(面積)	10×34 m ²		
(付近の植生) アカマツ群落		(出現種数)	14		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカマツ	15 ~ 17m	60%	20~45cm	2
T2(亜高木層)	アカガシ	8 ~ 10m	80%	10~20cm	4
S(低木1層)	ヒサカキ	5 ~ 7m	80%	2~10cm	7
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 2m	30%	~2cm	6
H(草本層)	ハイノキ	0 ~ 0.5m	10%	-	7

2010年3月1日 調査者:井原、三笠、笛田

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカマツ	H		1・1		ハイノキ					
		2・2		アカガシ			1・1		シキミ					
							+		クロガネモチ					
							+		ヒサカキ					
							+		ヤブニッケイ					
T2		4・4		アカガシ			+		リョウブ					
		2・2		リョウブ			+		ウラジロガシ					
		1・1		アカマツ										
		+		イヌシデ										
S1		3・3		ヒサカキ										
		2・2		シキミ										
		1・1		ヤブツバキ										
		1・1		アカガシ										
		1・1		サカキ										
		+		イヌツゲ										
		+		ウラジロガシ										
S2		2・2		ハイノキ										
		1・1		ヤブツバキ										
		+		アカガシ										
		+		クロキ										
		+		ヤブニッケイ										
		+		ヒサカキ										

様式4

植生調査票

No. 4	(地図)	(海拔)	814m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強・中・弱	(方位)	N15E		
(地形) 斜面中部	(日当) 陽・中・陰	(傾斜)	15°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾・適・湿・過湿	(面積)	10×30 m ²		
(付近の植生) アカガシ二次林		(出現種数)	16		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	10 ~ 15m	80%	20~40cm	4
T2(亜高木層)	イヌシデ	5 ~ 8m	70%	2~20cm	11
S(低木1層)	ハイノキ	2 ~ 3m	20%	~2cm	5
(低木2層)		~			
H(草本層)	ハイノキ	0 ~ 1m	20%	-	8

2010年3月1日 調査者:井原、三笠、笛田

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカガシ			+		ツクシジャクナゲ					
		2・2		イヌシデ			+		ネズミモチ					
		1・1		リョウブ			+		モミ					
		1・1		タカノツメ										
T2		2・2		シキミ										
		2・2		ヒサカキ										
		2・2		ハイノキ										
		2・2		イヌシデ										
		1・1		タカノツメ										
		1・1		ヤブツバキ										
		1・1		ネジキ										
		+		モミ										
		+		アオハダ										
		+		ネズミモチ										
		+		ヤマザクラ										
S1		1・1		ハイノキ										
		1・1		ヒサカキ										
		+		ヤブツバキ										
		+		ヤブニッケイ										
		+		シキミ										
H		2・2		ハイノキ										
		1・1		ミヤマシキミ										
		+		ヤブニッケイ										
		+		ヤブツバキ										
		+		シキミ										

様式4

植生調査票

No. 5	(地図)	(海拔)	1010m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N70W		
(地形) 斜面上部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	26°		
(土壌) 褐森	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×26m ²		
(付近の植生) アカシデ-イヌシデ群落		(出現種数)	22		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	イヌシデ	9 ~ 13m	70%	15~25cm	5
T2(亜高木層)	タンナサワフタギ	4 ~ 9m	30%	5~15cm	7
S(低木1層)	ツクシシャクナゲ	2 ~ 4m	30%	2~5cm	5
(低木2層)	タンナサワフタギ	0.5 ~ 2m	20%	~2cm	2
H(草本層)	コガクウツギ	0 ~ 0.5m	20%	-	12

2010年3月2日 調査者: 笹田、一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		2・2		ブナ	S1		2・2		ツクシシャクナゲ	H		2・2		コガクウツギ
		3・3		イヌシデ			1・2		シロモジ			1・1		ケクロモジ
		1・1		クマシデ			1・1		コハウチワカエデ			1・1		モミ
		1・1		アズキナシ			1・1		タンナサワフタギ			1・1		タンナサワフタギ
		1・1		リョウブ			+		アオハダ			+		カンアオイ属sp.
												+		イヌツゲ
												+		シキミ
												+		ヤマツツジ
												+		ツクシシャクナゲ
												+		スゲ属sp.
T2		2・2		タンナサワフタギ								+		ヒサカキ
		1・2		アズキナシ								+		シンガシラ
		1・2		アオハダ										
		1・1		ウリハダカエデ										
		1・1		リョウブ										
		1・1		コハウチワカエデ	S2		1・2		タンナサワフタギ					
		+		ブナ			1・1		ケクロモジ					
							+		カマツカ					
							+		モミ					
							+		シロモジ					
							+		リョウブ					
							+		シキミ					

様式4

植生調査票

No. 6	(地図)	(海拔)	1025m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N70W		
(地形) 尾根	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	5		
(土壌) 褐森	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×40m ²		
(付近の植生) シキミ-モミ群集		(出現種数)	30		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミ	16 ~ 20m	30%	20~103cm	1
T2(亜高木層)	クマシデ	8 ~ 16m	80%	15~20cm	8
S(低木1層)	シキミ	4 ~ 8m	30%	2~15cm	10
(低木2層)	ハイノキ	0.5 ~ 4m	40%	~2cm	10
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 0.5m	20%	-	16

2010年3月2日 調査者:一野、笛田

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		3・2		モミ						H		1・2		ハイノキ
												1・2		ミヤマシキミ
												+・2		コウヤコケシノブ
												+・2		コガクウツギ
												+		イヌツゲ
T2		3・3		クマシデ	S2		3・3		ハイノキ			+		カンアオイsp.
		3・3		モミ			2・2		シキミ			+		モミ
		2・1		アカガシ			1・1		ツクシシャクナゲ			+		ガマズミsp.
		1・1		ブナ			1・1		シロモジ			+		アカガシ
		1・1		ヒメシャラ			1・1		ケクロモジ			+		シキミ
		1・1		イヌシデ			1・1		カマツカ			+		ケクロモジ
		+		イワガラミsp.			+・2		コウヤコケシノブ			+		シュスランsp.
		+		ヤドリギ			+		モミ			+		ヤブツバキ
							+		コハウチワカエデ			+		ツクシシャクナゲ
							+		ヒメノキシノブ			+		ツヤナシイノデ
S1		2・2		シキミ								+		トウゲシバ
		1・1		シロダモ										
		1・1		ヤブツバキ										
		1・1		モミ										
		1・1		タンナサワフタギ										
		+		クマワラビ										
		+		カマツカ										
		+		ブナ										
		+		ヒメノキシノブ										

様式4

植生調査票

No. 7	(地図)	(海拔)	1025m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	ENE68°		
(地形) 斜面中	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	15°		
(土壌) 褐森	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×36m ²		
(付近の植生) シラキ-ブナ群集		(出現種数)	28		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	イヌシデ	12 ~ 18m	70%	15~60cm	6
T2(亜高木層)	イヌシデ	5 ~ 12m	60%	3~15cm	5
S(低木1層)	シキミ	1 ~ 5m	40%	~3cm	9
(低木2層)		~			
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 1m	20%	-	17

2010年3月2日 調査者: 笹田、一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		2・2		ブナ	S		3・3		シキミ	H		1・2		ミヤマシキミ
		2・2		クマシデ			1・1		アブラチャン			1・1		コガクウツギ
		3・3		イヌシデ			1・1		タンナサワフタギ			1・1		シキミ
		1・1		ミズメ			1・1		イヌシデ			+・2		イヌツゲ
		1・1		コハウチワカエデ			+		イヌツゲ			+		モミ
		1・1		アオハダ			+		カマツカ			+		モミ
							+		イワガラミsp.			+		ケクロモジ
							+		コハウチワカエデ			+		フユノハナワラビ
							+		ヒメノキシノブ			+		ツルマサキ
												+		シュスラン属sp.
												+		ツルリンドウ
												+		ハイノキ
												+		アオハダ
												+		ナンゴクナライシダ
												+		トウゲシバ
T2		3・3		イヌシデ								+		タンナサワフタギ
		2・2		シキミ								+		ヒメノキシノブ
		1・1		コハウチワカエデ										
		+		エゴノキ										
		+		アオハダ										

様式4

植生調査票

No. 8	(地図)	(海拔)	890m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(⊕)・弱	(方位)	S66W		
(地形) やせ尾根	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	26°		
(土壌) 褐色森林土(岩多い)	(土質) 乾(⊖)・湿・過湿	(面積)	10×30m ²		
(付近の植生) ツガ-ツクシシャクナゲ群落		(出現種数)	24		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ツガ	9 ~ 14m	50%	20~56cm	1
T2(亜高木層)	アカガシ	5 ~ 9m	50%	5~20cm	7
S(低木1層)	ハイノキ	1 ~ 5m	60%	~5cm	10
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1m	30%	-	14

2010年3月3日 調査者: 高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		ツガ	S		4・4		ハイノキ	H		1・1		シンガシラ
							2・2		ソヨゴ			1・1		ハイノキ
							2・2		イヌツゲ			1・1		イヌツゲ
							1・1		ヤブツバキ			1・1		コウヤコケシノブ
							1・1		コウヤコケシノブ			1・1		シキミ
							1・1		シャクナゲ			1・1		イヌツゲ
							+		タカノツメ			+		ナガバモミジイチゴ
							+		スイカズラ属の一種			+		ツガ
							+		ネジキ			+		アカガシ
							+		ヒサカキ			+		ウラジロ
T2		3・3		アカガシ								+		ヤマツツジ
		2・2		ヤマグルマ								+		ミズキ
		1・1		アズキナシ								+		コガクウツギ
		1・1		ツガ								+		ツツジ属の一種
		1・1		ミズメ										
		1・1		リョウブ										
		+		ネジキ										

様式4

植生調査票

No. 9	(地図)	(海拔)	980m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N58W		
(地形) 斜面中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	35°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×36m ²		
(付近の植生) ミヤマシキミ-アカガシ群集		(出現種数)	20		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	10 ~ 18m	85%	20~50cm	3
T2(亜高木層)	-	6 ~ 10m	40%	10~20cm	5
S(低木1層)	ハイノキ	3 ~ 6m	50%	2~10cm	5
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 3m	55%	~2cm	8
H(草本層)	-	0 ~ 1m	15%	-	8

2010年3月3日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカガシ	S1		3・3		ハイノキ	H		2・2		シキミ
		4・4		モミ			2・2		シキミ			1・1		ハイノキ
		2・2		クマシデ			2・2		ヤブツバキ			1・1		ミヤマシキミ
							1・1		クマシデ			+		カンアオイ属sp.
							+		アカガシ			+		コガクウツギ
												+		ナガバモミジイチゴ
												+		シシガシラ
												+		シソ科sp.
T2		2・2		ヤブツバキ	S2		3・3		ハイノキ					
		2・2		シキミ			2・2		シキミ					
		1・1		イロハモミジ			2・2		シヤクナゲ					
		1・1		イヌシデ			+		モミ					
		1・1		コハウチワカエデ			+		アオキ					
							+		アオハダ					
							+		イヌツゲ					
							+		オトコヨウゾメ					

様式4

植生調査票

No. 10	(地図)	(海拔)	970m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(☉)・弱	(方位)	W		
(地形) 斜面中部	(日当) (☉)・中・陰	(傾斜)	32°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(☉)・湿・過湿	(面積)	10×40m ²		
(付近の植生) シキミ- モミ群集		(出現種数)	19		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミ	16 ~ 20m	70%	20~67cm	2
T2(亜高木層)	イヌシデ	7 ~ 16m	80%	10~20cm	8
S(低木1層)	シキミ	3 ~ 7m	50%	2~10cm	5
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 3m	70%	~2cm	3
H(草本層)	-	0 ~ 1m	5%	-	9

2010年3月3日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		モミ	S1		3・3		シキミ	H		1・1		ハイノキ
		2・2		イヌシデ			2・2		ヤブツバキ			1・1		コガクウツギ
							1・1		ツルマサキ			1・1		シキミ
							+		コハウチワカエデ			+		モミ
							+		ヒメシャラ			+		イヌツゲ
												+		シシガシラ
												+		ミヤマシキミ
												+		ナガバモミジイチゴ
												+		カンアオイ属sp.
T2		3・3		イヌシデ	S2		4・4		ハイノキ					
		3・3		アカガシ			1・1		シキミ					
		2・2		ブナ			+		ヤブツバキ					
		2・2		アズキナシ										
		2・2		コハウチワカエデ										
		1・1		クマシデ										
		1・1		ヤブツバキ										
		+		ヒメノキシノブ										

様式4

植生調査票

No. 11	(地図)	(海拔)	1035m		
(調査地)多良岳山系	(風当) 強(⊕)・弱	(方位)	E		
(地形)尾根	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	16°		
(土壌)褐色森林土	(土質) 乾(⊖)・湿・過湿	(面積)	10×34m ²		
(付近の植生)シラキ-ブナ群集	(出現種数)	23			
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ブナ	12 ~ 17m	80%	20~39cm	3
T2(亜高木層)	-	8 ~ 12m	40%	10~20cm	4
S(低木1層)	シキミ	2.5 ~ 7m	40%	2~10cm	6
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 2.5m	50%	~2cm	10
H(草本層)	-	0 ~ 1m	40%	-	9

2010年3月3日 調査者:高尾

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		5・5		ブナ	S1		3・3		シキミ	H		3・3		ミヤマシキミ
		2・2		コハウチワカエデ			2・2		タンナサワフタギ			1・1		シキミ
		2・2		イヌシデ			1・1		ツルマサキ			1・1		ハイノキ
					11		1・1		ヒメノキシノブ			1・1		コガクウツギ
							+		コハウチワカエデ			1・1		イヌツゲ
							+		ツリバナ			+		カンアオイsp.
												+		モミ
												+		イヌツゲ
												+		ガマズミ属の一種
T2		2・2		クマシデ	S2		3・3		ハイノキ					
		2・2		モミ			3・3		シキミ					
		1・1		リョウブ			2・2		ミヤマシキミ					
		1・1		ヒメノキシノブ			+		イヌガヤ					
							+		クロモジ					
							+		イヌツゲ					
							+		ウツギsp.					
							+		カマツカ					
							+		アオハダ					
							+		ヒメシャラ					

様式4

植生調査票

No. 12	(地図)	(海拔)	1025m		
(調査地)多良岳山系	(風当) 強(☉)・弱	(方位)	S24W		
(地形)尾根	(日当) ☉・中・陰	(傾斜)	8°		
(土壌)褐色森林土	(土質) 乾(☉)・湿・過湿	(面積)	10×34m ²		
(付近の植生)ミヤマシキミ-アカガシ群集			(出現種数)	15	
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	12 ~ 17m	90%	20~58cm	5
T2(亜高木層)	-	7 ~ 12m	20%	10~20cm	3
S(低木1層)	-	3 ~ 7m	20%	2~10cm	6
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 3m	60%	~2cm	4
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 1m	50%	-	5

2010年3月3日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		5・5		アカガシ	S1		2・2		シキミ	H		3・3		ミヤマシキミ
		3・3		ブナ			1・1		ヤブツバキ			2・2		ハイノキ
		2・2		アズキナシ			1・1		イヌシデ			2・2		シキミ
		2・2		リョウブ			+		アズキナシ			+		カンアオイ属sp.
		1・1		コハウチワカエデ			+		ヒサカキ			+		ヤブツバキ
							+		ツガ					
T2		1・1		アカガシ	S2		4・4		ハイノキ					
		1・1		シキミ			2・2		シキミ					
		1・1		ヤブツバキ			1・1		シヤクナゲ					
							+		ツリバナ					

様式4

植生調査票

No. 13	(地図)	(海拔)	930m
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(☉)・弱	(方位)	S84W
(地形) 斜面中部	(日当) (☀)・中・陰	(傾斜)	30°
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(☉)・湿・過湿	(面積)	10×44m ²
(付近の植生) シキミ-モミ群集	(出現種数)	15	

階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミ	16 ~ 22m	70%	80~100cm	1
T2(亜高木層)	コハウチワカエデ	10 ~ 16m	60%	10~100cm	6
S(低木1層)	ヤブツバキ	3 ~ 8m	55%	1~10cm	5
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 3m	65%	~1cm	6
H(草本層)		0 ~ 1m	5%	-	8

2010年3月3日 調査者: 高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		モミ	S1		3・3		ヤブツバキ	H		1・1		ハイノキ
							3・3		ハイノキ			+		ミヤマシキミ
							2・2		シキミ			+		ヤブツバキ
							1・1		ツリバナ			+		ベニシダ
							1・1		不明			+		アカガシ
												+		イヌツゲ
												+		キツタ
												+		ヒサカキ
T2		3・3		コハウチワカエデ	S2		4・4		ハイノキ					
		2・2		アカガシ			2・2		ヒサカキ					
		2・2		ヤブツバキ			1・1		シキミ					
		2・2		シキミ			1・1		ツルマサキ					
		2・2		モミ			+		シキミ					
		1・1		ヤマグルマ			+		ヤブツバキ					

様式4

植生調査票

No. 14	(地図)	(海拔)	1010m
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(☉)・弱	(方位)	N20W
(地形) 斜面上部	(日当) ☉・中・陰	(傾斜)	30°
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(☉)・湿・過湿	(面積)	10×34m ²
(付近の植生) シラキ-ブナ群集		(出現種数)	16

階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ブナ	12 ~ 17m	80%	15~57cm	4
T2(亜高木層)	-	5 ~ 10m	35%	5~15cm	7
S(低木1層)	ツクシシャクナゲ	1 ~ 5m	70%	~5cm	8
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1m	3%	-	6

2010年3月2日 調査者:高尾、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		ブナ	S		4・4		ツクシシャクナゲ	H		1・1		ハイノキ
		3・3		イヌシデ			3・3		ミヤマシキミ			+		モミ
		2・2		モミ			2・2		ケクロモジ			+		シキミ
		2・2		ヒメシャラ			+		イヌツゲ			+		カンアオイ属sp.
							+		ハイノキ			+		ミヤマシキミ
							+		イヌシデ			+		イヌツゲ
							+		ブナ					
							+		ガマズミsp.					
T2		2・2		ブナ										
		2・2		モミ										
		1・1		ヒメシャラ										
		1・1		ヒメノキシノブ										
		1・1		コハウチワカエデ										
		+		ツルマサキ										
		+		イワヤナギシダ?										

植生調査票

No. 15		(地図)	(海拔)	1030m	
(調査地) 多良岳山系		(風当) 強 ⊕・弱	(方位)	E	
(地形) 尾根		(日当) ☉・中・陰	(傾斜)	10°	
(土壌) 褐色森林土		(土質) 乾 ⊖・湿・過湿	(面積)	10×34m²	
(付近の植生) ミヤマシキミ-アカガシ群集			(出現種数)	17	
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	12 ~ 17m	75%	25~48cm	4
T2(亜高木層)	アカガシ	8 ~ 12m	55%	10~25cm	5
S(低木1層)	-	2.5 ~ 6m	40%	2~10cm	7
(低木2層)	ハイノキ	1 ~ 2.5m	65%	~2cm	5
H(草本層)	-	0 ~ 1m	10%	-	7

2010年3月2日 調査者: 高尾、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカガシ	S1		2・2		ヤブツバキ	H		1・1		シキミ
		3・3		ブナ			2・2		シキミ			1・1		ハイノキ
		2・2		アズキナシ			1・1		ヒメノキノブ			1・1		ミヤマシキミ
		2・2		イヌシデ			1・1		アカガシ			+		ヤブツバキ
							+		ブナ			+		イヌツゲ
							+		イワヤナギシダ?			+		カンアオイ属sp.
							+		ヒサカキ			+		モミ
T2		3・3		アカガシ	S2		3・3		ミヤマシキミ					
		2・2		イヌシデ			3・3		ハイノキ					
		2・2		ブナ			2・2		シキミ					
		1・1		ツガ			+		シャクナゲ					
		+		リョウブ			+		イヌツゲ					

様式4

植生調査票

No. 16	(地図)	(海拔)	1040m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(☀)・弱	(方位)	-		
(地形) 尾根	(日当) ☀・中・陰	(傾斜)	-		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(☉)・湿・過湿	(面積)	10×34m ²		
(付近の植生) ミヤマシキミ-アカガシ群集		(出現種数)	16		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	10 ~ 15m	85%	20~40cm	5
T2(亜高木層)	アカガシ	7 ~ 10m	60%	5~20cm	5
S(低木1層)	ミヤマシキミ	1.2 ~ 3m	60%	~5cm	7
(低木2層)		~			
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 1.2m	40%	-	7

2010年3月2日 調査者:高尾、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカガシ	S		3・3		ミヤマシキミ	H		3・3		ミヤマシキミ
		3・3		ブナ			2・2		ハイノキ			2・2		ハイノキ
		2・2		モミ			2・2		シキミ			1・1		カンアオイ属sp.
		2・2		コハウチワカエデ			1・1		コハウチワカエデ			1・1		イヌツゲ
		2・2		イヌシデ			1・1		アカガシ			+		ネズミモチ
							+		シロモジ			+		シキミ
							+		アオハダ			+		イヌシデ
T2		4・4		アカガシ										
		2・2		アズキナシ										
		1・1		イヌツゲ										
		1・1		リョウブ										
		+		ヒメノキシノブ										

様式4

植生調査票

No. 17	(地図)	(海拔)	630m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	S85W		
(地形) 谷中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	20°		
(土壌) 褐色森林土、岩	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×40m ²		
(付近の植生) アカシデ-イヌシデ群落	(出現種数)	28			
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アサガラ	12 ~ 20m	85%	10~42cm	10
T2(亜高木層)	シオジ	6 ~ 12m	50%	5~10cm	3
S(低木1層)	-	1 ~ 5m	40%	~5cm	12
(低木2層)		~			
H(草本層)	オオキツネノカミソリ	0 ~ 1m	30%	-	11

2010年3月4日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		アサガラ	S		2・2		シオジ	H		3・3		オオキツネノカミソリ
		3・3		エゾエノキ			2・2		イヌシデ			+		ヒメノキシノブ
		2・2		アカメガシワ			2・2		チドリノキ			+		ジュウモンジシダ
		1・1		イヌシデ			1・1		モミ			+		ユリワサビ
		1・1		ケヤキ			1・1		イタヤカエデ			+		キツタ
		1・1		イタヤカエデ			1・1		ヒメウツギ			+		クマワラビ
		1・1		シオジ			+		ネズミモチ			+		ミツバ
		1・1		カラスザンショウ			+		アオキ			+		チドリノキ
		1・1		キハダ			+		シロダモ			+		キケマン属sp.
		1・1		互生不明種			+		ヤブニッケイ			+		ヤマアイ
							+		サンゴジュ			+		タチネコノメソウ
							+		ケヤキ					
T2		3・3		シオジ										
		2・2		ケヤキ										
		1・1		ヤブニッケイ										

様式4

植生調査票

No. 18	(地図)	(海拔)	615m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	W		
(地形) 谷中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	12°		
(土壌) 褐色森林土、岩	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×40m ²		
(付近の植生) シオジ群落	(出現種数)	22			
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	シオジ	15 ~ 20m	85%	10~38cm	6
T2(亜高木層)	シオジ	8 ~ 15m	50%	5~10cm	7
S(低木1層)	-	1 ~ 6m	40%	~5cm	11
(低木2層)		~			
H(草本層)	オオキツネノカミソリ	0 ~ 1m	30%	-	7

2010年3月4日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		シオジ	S		2・2		シオジ	H		3・3		オオキツネノカミソリ
		3・3		カラスザンショウ			1・1		アオキ			1・1		イワガラミ
		3・3		キハダ			1・1		テイカカズラ			1・1		アオキ
		2・2		エゴノキ			1・1		チドリノキ			1・1		ツルマサキ
		2・2		ヤマザクラ			+		ネズミモチ			+		ミツバ
		2・2		アサガラ			+		キツタ			+		キツタ
							+		ウツギsp.			+		ヤブツバキ
							+		イヌシデ					
							+		イヌツゲ					
							+		ヤブツバキ					
							+		ガマズミ属の一種					
T2		3・3		シオジ										
		1・1		アサガラ										
		1・1		エゴノキ										
		1・1		ヒメノキシノブ										
		1・1		ヤブニッケイ										
		1・1		イヌシデ										
		+		ネズミモチ										

様式4

植生調査票

No. 19	(地図)	(海拔)	595m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	S72W		
(地形) 谷中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	10°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×36m ²		
(付近の植生) シオジ群落		(出現種数)	34		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	シオジ	15 ~ 18m	80%	15~36cm	5
T2(亜高木層)	-	8 ~ 15m	40%	5~15cm	5
S(低木1層)	-	1 ~ 5m	30%	~5cm	8
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1m	35%	-	21

2010年3月4日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		シオジ	S		2・2		ネズミモチ	H		2・2		オオキツネノカミソリ
		3・3		カラスザンショウ			2・2		ヤブツバキ			2・2		ヤブムラサキ
		2・2		キハダ			1・1		アオキ			1・1		テイカカズラ
		2・2		エゴノキ			1・1		マメヅタ			1・1		キヅタ
		2・2		互生不明種			1・1		ホソバタブ			1・1		ネコノメソウ属sp.
							1・1		イタヤカエデ			1・1		チャルメルソウ属sp.
							+		キヅタ			1・1		ウツギsp.
							+		チドリノキ			1・1		イタビカズラ
												+		ネズミモチ
												+		イノデ
												+		ヒサカキ
												+		マメヅタ
												+		ヤマアイ
												+		フユイチゴ
												+		ミツバ
T2		2・2		ウラジログシ								+		キンミズヒキsp.
		2・2		アサガラ								+		クマワラビ
		2・2		エゴノキ								+		ニワトコ
		1・1		シオジ								+		ウバユリ
		+		アカメガシワ								+		ジュウモンジシダ
												+		ナガバモミジイチゴ

様式4

植生調査票

No. 20	(地図)	(海拔)	610m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	S60E		
(地形) 斜面下部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	42°		
(土壌) 褐色森林土、大岩	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×40m ²		
(付近の植生) ウラジロガシ二次林		(出現種数)	26		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ウラジロガシ	15 ~ 20m	90%	20~58cm	7
T2(亜高木層)	-	8 ~ 15m	30%	10~20cm	4
S(低木1層)	ホソバタブ	1 ~ 8m	55%	~10cm	8
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1m	30%	-	14

2010年3月4日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		5・5		ウラジロガシ	S		3・3		ホソバタブ	H		2・2		ホソバタブ
		2・2		イヌシデ			2・2		シキミ			1・1		ヤブツバキ
		2・2		ケヤキ			2・2		サザンカ			1・1		テイカカズラ
		2・2		アカガシ			1・1		ネズミモチ			1・1		サザンカ
		1・1		対生不明種			1・1		アオキ			1・1		ヒサカキ
		1・1		互生不明種			1・1		ヤブニッケイ			1・1		マメヅタ
		1・1		ミズキ			1・1		ヤブツバキ			1・1		イタビカズラ
							1・1		ウラジロガシ			+		クマワラビ
												+		ベニシダ
												+		トウゴクシダ
												+		サネカズラ
												+		イヌガヤ
												+		オオイタチシダ
												+		イノデ
T2		2・2		ヤブニッケイ										
		1・1		マメヅタ										
		1・1		フジsp.										
		1・1		イヌガヤ										

様式4

植生調査票

No. 21	(地図)	(海拔)	1015m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) (強)・中・弱	(方位)	N60W		
(地形) 斜面上	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	40°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×16m ²		
(付近の植生) リョウブ・ミズナラ群集		(出現種数)	27		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)		～			
T2(亜高木層)	ミズナラ	4.5 ～ 8m	75%	5～32cm	9
S(低木1層)	シロモジ	0.8 ～ 4.5m	50%	～5cm	14
(低木2層)		～			
H(草本層)	ツツジ属sp.	0 ～ 0.8m	20%	-	15

2010年3月5日 調査者: 一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		ミズナラ	S		3・3		シロモジ	H		1・2		スゲ属sp.
		2・2		アズキナシ			2・2		シキミ			1・2		コガクウツギ
		2・2		コハウチワカエデ			2・2		ツクシヤクナゲ			1・2		ツツジ属sp.
		1・1		ヒメシャラ			1・2		ガマズミ属sp.			1・1		ケクロモジ
		1・1		リョウブ			1・1		タンナサワフタギ			1・1		ガマズミ属sp.
		1・1		イヌシデ			1・1		ケクロモジ			+		シキミ
		1・1		クマシデ			+		イヌツゲ			+		ツリバナ
		+		アカシデ			+		タカノツメ			+		イヌツゲ
		+		アオハダ			+		ツリバナ			+		タンナサワフタギ
							+		クマシデ			+		ツルマサキ
							+		ヤマツツジ			+		ハイノキ
							+		リョウブ			+		ヤマツツジ
							+		ヤマボウシ			+		モミ
							+		アオハダ			+		ナガバノコウヤボウキ
												+		コハウチワカエデ

様式4

植生調査票

No. 22	(地図)	(海拔)	1000m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N50W		
(地形) 斜面中	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	26°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×28m ²		
(付近の植生) リョウブ・ミズナラ群集		(出現種数)	33		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ミズナラ	7 ~ 14m	70%	15~33cm	7
T2(亜高木層)	アズキナシ	4 ~ 7m	30%	3~15cm	10
S(低木1層)	シロモジ	1 ~ 4m	40%	~3cm	17
(低木2層)		~			
H(草本層)	ガマズミ属sp.	0 ~ 1m	20%	-	20

2010年3月5日 調査者:一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		3・3		ミズナラ	S		3・3		シロモジ	H		1・2		コガクウツギ
		2・2		クマシデ			1・2		ケクロモジ			1・2		ガマズミ属sp.
		1・1		アズキナシ			1・2		ガマズミ属sp.			1・2		ナガバコウキボウキ
		1・1		コハウチワカエデ			1・1		シキミ			1・2		不明(互生)
		1・1		ヒメシャラ			1・1		タンナサワフタギ			1・1		ナガバモミジイチゴ
		1・1		ヤマボウシ			1・1		ツリバナ			1・1		ケクロモジ
		1・1		シラキ			1・1		ナガバモミジイチゴ			1・1		コアジサイ
							1・1		ツクシシャクナゲ			+		ヤマツツジ
							1・1		シラキ			+		スゲ属sp.
							+		アオハダ			+		シンガシラ
							+		コハウチワカエデ			+		ツルリンドウ
							+		コバミツバツツジ			+		イヌツゲ
							+		イワガラミsp.			+		ツリバナ
							+		リョウブ			+		シキミ
							+		ムラサキシキブ			+		タンナサワフタギ
T2		2・2		アズキナシ			+		ツツジ属sp.			+		イワガラミsp.
		1・2		コハウチワカエデ			+		ヒメシャラ			+		コウヤコケシノブ
		1・1		ヤマボウシ								+		クロキ
		1・1		ヒメシャラ								+		シロモジ
		1・1		ミズナラ								+		スマレ属sp.
		1・1		シラキ										
		+		ツリバナ										
		+		イワガラミsp.										
		+		タンナサワフタギ										
		+		アオハダ										

様式4

植生調査票

No. 23	(地図)	(海拔)	1035m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N4E		
(地形) 斜面上	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	32°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×18m ²		
(付近の植生) リョウブ-ミズナラ群集	(出現種数)	31			
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)		~		-	
T2(亜高木層)	ミズナラ	4 ~ 9m	65%	5~28cm	5
S(低木1層)	シロモジ	1 ~ 4m	50%	~5cm	16
(低木2層)		~			
H(草本層)	シロモジ	0 ~ 1m	35%	-	22

2010年3月5日 調査者:一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		ミズナラ	S		4・4		シロモジ	H		2・2		不明(互生)
		2・2		アカシデ			2・2		コバノミツバツツジ			2・2		シロモジ
		1・1		アズキナシ			1・1		タンナサワフタギ			1・2		ヤマツツジ
		1・1		タカノツメ			1・1		アカシデ			1・2		コガクウツギ
		1・1		シラキ			1・1		ケクロモジ			1・2		スゲ属sp.
							1・1		アズキナシ			1・2		ナガバコウヤボウキ
							1・1		ツリバナ			1・2		ケクロモジ
							1・1		シキミ			1・2		ツツジ属sp.
							1・1		シラキ			1・2		ガマズミ属sp.
							+		モミ			1・1		シンガシラ
							+		ニシキギ属sp.			+		イヌツゲ
							+		ネジキ			+		シキミ
							+		イワガラミsp.			+		タンナサワフタギ
							+		コハウチワカエデ			+		ソヨゴ
							+		イヌツゲ			+		ナガバモミジイチゴ
							+		リョウブ			+		サルトリイバラ
												+		コハウチワカエデ
												+		ニシキギ属sp.
												+		モミ
												+		カンアオイ属sp.
												+		ツルリンドウ
												+		ツリバナ

様式4

植生調査票

No. 24	(地図)	(海拔)	1015m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N28W		
(地形) 斜面上(微尾根)	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	44°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×18m ²		
(付近の植生) リョウブ-ミズナラ群集		(出現種数)	32		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)		~		-	
T2(亜高木層)	ミズナラ	4 ~ 9m	60%	5~29cm	6
S(低木1層)	ツツジ属sp.	1 ~ 4m	60%	~5cm	18
(低木2層)		~			
H(草本層)	ケクロモジ	0 ~ 1m	30%	-	18

2010年3月5日 調査者: 一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		ミズナラ	S		2・2		シロダモ	H		2・2		ケクロモジ
		2・2		リョウブ			2・2		ツクシジャクナゲ			1・2		シロモジ
		2・2		イヌシデ			2・2		シラキ			1・2		コガクウツギ
		1・1		ネジキ			2・2		ツツジ属sp.			1・2		ナガバコウヤボウキ
		1・1		シラキ			2・2		マンサク			1・2		ガマズミ属sp.
		1・1		クマシデ			1・2		コバミツバツツジ			+		モミ
							1・1		ケクロモジ			+		シキミ
							1・1		コハウチワカエデ			+		ナガバモミジイチゴ
							1・1		シキミ			+		スゲ属sp.
							+		ヒメシャラ			+		シンガシラ
							+		タカノツメ			+		イヌツゲ
							+		アオハダ			+		タンナサワフタギ
							+		ガマズミ属sp.			+		コアジサイsp.
							+		リョウブ			+		ソヨゴ
							+		イヌツゲ			+		不明(互生)
							+		アズキナシ			+		シラキ
							+		ミズナラ			+		ツリバナ
									ツリバナ			+		アオハダ

様式4

植生調査票

No. 25	(地図)	(海拔)	1020m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N30W		
(地形) 斜面上(微谷)	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	37°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×20m ²		
(付近の植生) リョウブ-ミズナラ群集		(出現種数)	34		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ミズナラ	6.5 ~ 10m	60%	10~28cm	6
T2(亜高木層)	シラキ	4 ~ 6.5m	35%	3~10cm	7
S(低木1層)	シロモジ	1 ~ 4m	50%	~3cm	13
(低木2層)		~			
H(草本層)	不明(対生)	0 ~ 1m	25%	-	21

2010年3月5日 調査者:一野

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		ミズナラ	S		2・2		ガマズミ属sp.	H		2・2		不明(対生)
		2・2		ヒメシヤラ			2・2		シロモジ			1・2		不明(互生)
		2・2		コハウチワカエデ			2・2		コバノミツバツツジ			1・2		ケクロモジ
		1・1		ネジキ			2・2		ケクロモジ			1・2		コガクウツギ
		1・1		アカシデ			1・1		ヤマツツジ			1・2		ガマズミ属sp.
		1・1		ヤマボウシ			+		イヌツゲ			1・2		ツツジ属sp.
							+		タンナサワフタギ			+		スゲ属sp.
							+		シラキ			+		シンガシラ
							+		ツリバナ			+		コアジサイsp.
							+		コハウチワカエデ			+		モミ
T2		2・2		シラキ			+		アオハダ			+		シキミ
		1・1		ヒメシヤラ			+		ネジキ			+		コウヤコケシノブ
		1・1		タンナサワフタギ			+		リョウブ			+		イワガラミsp.
		1・1		クマシデ								+		ツルリンドウ
		1・1		コミネカエデ								+		コハウチワカエデ
		1・1		ネジキ								+		ハイノキ
		+		ミズナラ								+		ツリバナ
												+		ニシキギ属sp.
												+		イヌツゲ
												+		ヤマツツジ
												+		ソヨゴ

様式4

植生調査票

No. 26	(地図)	(海拔)	753m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N60W		
(地形) 谷中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	20°		
(土壌) 褐森、レキ、岩	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10 × 40 m ²		
(付近の植生) ウリノキ-ミズキ群落		(出現種数)	33		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ミズキ	15 ~ 20m	80%	20~58cm	7
T2(亜高木層)	-	7 ~ 15m	25%	5~20cm	6
S(低木1層)	-	1 ~ 5m	30%	~5cm	13
(低木2層)		~		-	
H(草本層)	-	0 ~ 1m	5%	-	15

2010年3月8日 調査者:井原、高尾

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		3・3		ミズキ	S		2・2		カヤ	H		1・1		アブラチャン
		3・3		キハダ			2・2		チドリノキ			1・1		ツルシキミ
		3・3		イタヤカエデ			1・1		ツルマサキ			1・1		トネリコ属の一種
		1・1		イロハモミジ			1・1		ヤブニッケイ			+		イヌツゲ
		1・1		ヤマザクラ			1・1		カナクキノキ			+		イヌガヤ
		1・1		アサガラ			1・1		ミヤマイボタsp.			+		シロダモ
				ノキシノブ			1・1		ガマズミ属の一種			+		アキノタムラソウ
							1・1		ヌルデ			+		イノデモドキ
							+		ネズミモチ			+		ナガバモミジイチゴ
							+		ウリハダカエデ			+		カヤ
T2		2・2		イヌシデ			+		シキミ			+		ネズミモチ
		2・2		ミズキ			+		イヌガヤ			+		ジュウモンジシダ
		1・1		キハダ			+		シロダモ			+		コガクウツギ
		1・1		コハウチワカエデ								+		ヤブツバキ
		1・1		ウリハダカエデ								+		シキミ
		1・1		ツルアジサイ										

様式4

植生調査票

No. 27	(地図)	(海拔)	715m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強・ 中 ・弱	(方位)	N30W		
(地形) 斜面下部	(日当) 陽 ・中・陰	(傾斜)	35°		
(土壌) 褐森、レキ、岩	(土質) 乾・ 適 ・湿・過湿	(面積)	10× 40 m ²		
(付近の植生) ウリノキ-ミズキ群落		(出現種数)	37		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ミズキ	15 ~ 20m	90%	20~38cm	8
T2(亜高木層)	-	10 ~ 15m	50%	10~30cm	4
S(低木1層)	-	1 ~ 8m	40%	~10cm	13
(低木2層)	-	~	-	-	-
H(草本層)	-	0 ~ 1m	5%	-	23

2010年3月8日 調査者:井原、高尾

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		ミズキ	S		2・2		チドリノキ	H		1・1		アカガシ
		2・2		カゴノキ			2・2		ハナイカダ			+		シュスランsp.
		2・2		アサガラ			2・2		ミズキ			+		ニワトコ
		2・2		キハダ			1・1		ツルマサキ			+		イノデモドキ
		2・2		イヌシデ			1・1		イヌツゲ			+		ミヤマイボタ
		2・2		エゴノキ			1・1		ネズミモチ			+		イヌツゲ
		2・2		イロハモミジ			1・1		ウラジロガシ			+		ミズキ
		2・2		ケヤキ			1・1		ヤブツバキ			+		ツリバナ
							1・1		コハウチワカエデ			+		アブラチャン
							+		ヤブニッケイ			+		オトコヨウゾメ
							+		シロダモ			+		タチツボスミレ
							+		サンショウ			+		ネコノメソウ属sp.
							+		ムラサキシキブ			+		ネズミモチ
												+		アキノタムラソウ
												+		クマワラビ
T2		2・2		ヤブツバキ								+		ツルマサキ
		2・2		ヤマザクラ								+		シロダモ
		1・1		ミズキ								+		イノデモドキ
		1・1		イヌシデ								+		シキミ
												+		ヤブツバキ
												+		ベニシダ
												+		ジュウモンジシダ
												+		カンアオイ属sp.

様式4

植生調査票

No. 28	(地図)	(海拔)	700m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強・ <u>中</u> ・弱	(方位)	S10E		
(地形) 斜面下部	(日当) <u>陽</u> ・中・陰	(傾斜)	30°		
(土壌) 褐森	(土質) 乾・ <u>適</u> ・湿・過湿	(面積)	10× 36 m ²		
(付近の植生) ウラジロガシ二次林		(出現種数)	23		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ウラジロガシ	13 ~ 18m	90%	15~60cm	8
T2(亜高木層)	-	8 ~ 13m	40%	10~15cm	8
S(低木1層)	-	1.5 ~ 8m	70%	~10cm	10
(低木2層)		~		-	
H(草本層)		0 ~ 1.5m	5%	-	14

2010年3月8日 調査者:井原、高尾

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		3・3		ウラジロガシ	S		2・2		ヒサカキ	H		1・1		ヤブコウジ
		3・3		アカガシ			2・2		ホソバタブ			+		ミヤマシキミ
		3・3		イヌシデ			2・2		シキミ			+		ハイノキ
		2・2		ヤマザクラ			2・2		ヤブツバキ			+		ヒサカキ
		2・2		タブノキ			2・2		ウラジロガシ			+		シロダモ
		1・1		モミ			2・2		サカキ			+		ホソバタブ
		1・1		イイギリ			1・1		イスノキ			+		ヤブツバキ
		1・1		ツガ			+		ハイノキ			+		ネズミモチ
							+		ネズミモチ			+		イヌガシ
							+		イヌガシ			+		ヤブニッケイ
												+		アカガシ
												+		イスノキ
												+		サカキ
												+		イヌガヤ
T2		2・2		ヤブツバキ										
		2・2		ウラジロガシ										
		2・2		サカキ										
		1・1		ヤブニッケイ										
		1・1		イスノキ										
		1・1		タブノキ										
		1・1		シキミ										
		+		ヤマフジ										

様式4

植生調査票

No. 29		(地図)	(海拔)		720m
(調査地) 多良岳山系		(風当) 強・ 中 ・弱	(方位)		S60W
(地形) 尾根		(日当) 陽 ・中・陰	(傾斜)		15°
(土壌) 褐色森林土		(土質) 乾・ 適 ・湿・過湿	(面積)		10× 36 m ²
(付近の植生) アカマツ群落				(出現種数)	21
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカマツ	10 ~ 18m	75%	20~64cm	3
T2(亜高木層)	-	5 ~ 10m	50%	5~20cm	11
S(低木1層)	-	1.5 ~ 5m	60%	~5cm	12
(低木2層)		~		-	
H(草本層)	-	0 ~ 1.5m	5%	-	7

2010年3月8日 調査者:井原、高尾

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		アカマツ	S		3・3		イスノキ	H		1・1		ヤブコウジ
		2・2		イヌシデ			1・1		サカキ			+		イスノキ
		3・3		アカガシ			1・1		ヤブツバキ			+		ハイノキ
							1・1		ヒサカキ			+		ヤブニッケイ
							1・1		イヌツゲ			+		イヌツゲ
							1・1		アカガシ			+		ネズミモチ
							1・1		ネズミモチ			+		アカガシ
							1・1		ハイノキ					
							+		ツガ					
							+		シャクナゲ					
T2		2・2		アカガシ			+		シキミ					
		2・2		アカマツ			+		ヤブニッケイ					
		2・2		モミ										
		2・2		ウラジロガシ										
		2・2		ソヨゴ										
		2・2		リョウブ										
		1・1		ヤブツバキ										
		1・1		イヌガヤ										
		1・1		イヌシデ										
		1・1		シキミ										
		+		ネジキ										

様式4

植生調査票

No. 30	(地図)	(海拔)	760m			
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N60W			
(地形) 尾根	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	8°			
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×	20	m ²	
(付近の植生) アカガシ二次林					(出現種数)	22
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数	
T1(高木層)	アカガシ	6 ~ 9m	90%	10~40cm	5	
T2(亜高木層)		~				
S(低木1層)	ヤブツバキ	1.5 ~ 5m	70%	~5cm	14	
(低木2層)		~				
H(草本層)	-	0 ~ 1.5m	10%	-	10	

2010年3月16日 調査者: 高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
		4・4		アカガシ	S		3・3		ヤブツバキ	H		2・2		サザンカ
		3・3		コハウチワカエデ			2・2		コハウチワカエデ			+		イヌガシ
		1・1		タカノツメ			1・1		ハイノキ			+		アオキ
		1・1		リョウブ			1・1		シキミ			+		シロダモ
		1・1		ヤブニッケイ			1・1		ツクシジャクナゲ			+		ツルマサキ
							1・1		ヒサカキ			+		ヤブニッケイ
							1・1		ミヤマシキミ			+		カンアオイ属sp.
							1・1		アオハダ			+		ヤブコウジ
							+		イヌガシ			+		ハイノキ
							+		サザンカ			+		アオハダ
							+		イヌツゲ					
							+		アカガシ					
							+		カクレミノ					
							+		ネズミモチ					

様式4

植生調査票

No. 31	(地図)	(海拔)	850m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	W		
(地形) 斜面上部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	15°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×	30	m ²
(付近の植生) アカガシ二次林		(出現種数)	17		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	10 ~ 15m	85%	15~45cm	3
T2(亜高木層)	-	5 ~ 10m	50%	5~15cm	4
S(低木1層)	-	1.5 ~ 5m	40%	~5cm	7
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1.5m	30%	-	12

2010年3月16日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		5・5		アカガシ	S		2・2		ヤブツバキ	H		2・2		ミヤマシキミ
		2・2		イヌシデ			2・2		ハイノキ			2・2		ハイノキ
		1・1		モチノキ			1・1		シキミ			2・2		サザンカ
							1・1		サザンカ			1・1		ヤブツバキ
							1・1		アズキナシ			+		イヌガシ
							1・1		ヒサカキ			+		ネズミモチ
							+		タブノキ			+		アカガシ
												+		イヌツゲ
												+		ヒサカキ
												+		アオキ
												+		カンアオイ属sp.
												+		ヤブコウジ
T2		2・2		アカガシ										
		2・2		ヤブツバキ										
		1・1		アズキナシ										
		1・1		シキミ										

様式4

植生調査票

No. 32	(地図)	(海拔)	880m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強・ <u>中</u> ・弱	(方位)	N14W		
(地形) 斜面上部	(日当) (<u>陽</u>)・中・陰	(傾斜)	34°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾・ <u>適</u> ・湿・過湿	(面積)	10× 28 m ²		
(付近の植生) シキミ-モミ群集(アカガシ優占)		(出現種数)	16		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	アカガシ	9 ~ 14m	85%	15~64cm	4
T2(亜高木層)	ヤブツバキ	4 ~ 9m	50%	2~15cm	6
S(低木1層)	ミヤマシキミ	1 ~ 4m	70%	~2cm	9
(低木2層)		~			
H(草本層)	ミヤマシキミ	0 ~ 1m	35%	-	9

2010年3月16日 調査者: 高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		5・5		アカガシ	S		4・4		ミヤマシキミ	H		3・3		ミヤマシキミ
		2・2		アカシデ			3・3		ハイノキ			2・2		ツクシシャクナゲ
		2・2		エゴノキ			2・2		ツクシシャクナゲ			1・1		コガクウツギ
		2・2		シキミ			1・1		ヤブツバキ			+		イヌツゲ
							1・1		シキミ			+		ハイノキ
							+		ケクロモジ			+		アカガシ
							+		モミ			+		モミ
							+		ヒメノキシノブ			+		アジサイ属sp.
							+		アカガシ			+		ヒメノキシノブ
T2		3・3		ヤブツバキ										
		2・2		アカガシ										
		2・2		シキミ										
		+		イヌシデ										
		+		モミ										
		+		ヤマフジ										

様式4

植生調査票

No. 33	(地図)	(海拔)	870m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N32E		
(地形) 斜面中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	32°		
(土壌) 褐色森林土(岩多い)	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×	48	m ²
(付近の植生) シキミーモミ群集		(出現種数)	37		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミノキ	17 ~ 24m	80%	20~105cm	1
T2(亜高木層)	-	7 ~ 12m	25%	5~20cm	5
S(低木1層)	-	1.5 ~ 7m	30%	~5cm	16
(低木2層)		~			
H(草本層)	-	0 ~ 1.5m	30%	-	20

2010年3月16日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		5・5		モミ	S		1・1		ケクロモジ	H		2・2		コガクウツギ
							1・1		ガマズミ属sp.			2・2		ケクロモジ
							1・1		コハウチワカエデ			1・1		トウゲシバ
							1・1		タンナサワフタギ			1・1		ヤマアジサイ
							+		シロダモ			1・1		コウヤコケシノブ
							+		アブラチャン?			+		ハイノキ
							+		カジカエデ			+		シロダモ
							+		シロモジ			+		ツルマサキ
							+		ブナ			+		イノデモドキ
							+		カマツカ			+		イヌツゲ
T2		2・2		カジカエデ			+		ヤブツバキ			+		キッコウハグマ
		1・1		タカノツメ			+		ヤブムラサキ			+		ネズミモチ
		1・1		ウリハダカエデ			+		イヌガヤ			+		ツクシコウモリソウ
		1・1		シラキ			+		ネズミモチ			+		ナガバモミジイチゴ
		1・1		トネリコ属sp.			+		ネジキ			+		ジュウモンジシダ
							+		オトコヨウゾメ			+		ガマズミ属sp.
												+		クマノミズキ
												+		シキミ
												+		ヒメノキシノブ
												+		カンアオイsp.

様式4

植生調査票

No. 34	(地図)	(海拔)	1060m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) ④・中・弱	(方位)	N38W		
(地形) 斜面上部	(日当) ④・中・陰	(傾斜)	37°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾④・湿・過湿	(面積)	10×	10	m ²
(付近の植生) 山頂部風衝低木群落		(出現種数)	29		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)		~			
T2(亜高木層)		~			
S(低木1層)	マンサク	1.5 ~ 5m	80%	1~8cm	12
(低木2層)	ホツツジ	0.5 ~ 1.5m	70%	~1cm	8
H(草本層)	コガクウツギ	0 ~ 0.5m	40%	-	14

2010年3月16日 調査者: 高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
S1		4・4		マンサク	S2		4・4		ホツツジ	H		3・3		コガクウツギ
		2・2		コミネカエデ			2・2		ケクロモジ			2・2		ホツツジ
		1・1		イヌツゲ			1・1		シラキ			+		モミ
		1・1		ツクシヤクナゲ			1・1		コミネカエデ			+		イヌツゲ
		1・1		タンナサワフタギ			1・1		ドウダンツツジ属sp.			+		ハイノキ
		1・1		ツツジ属sp.			+		ソヨゴ			+		アカガシ
		+		ネジキ			+		ガマズミ属sp.			+		ソヨゴ
		+		リョウブ			+		コマユミ			+		ケクロモジ
		+		ヒメシヤラ								+		シンガシラ
		+		アオハダ								+		シキミ
		+		タカノツメ								+		クマノミズキ
		+		ヤマボウシ								+		スゲsp.
												+		ツルアリオシ
												+		ヤマシグレ

様式4

植生調査票

No. 35	(地図)	(海拔)	1070m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 弱・中・弱	(方位)	S58W		
(地形) やせ尾根	(日当) 陽・中・陰	(傾斜)	12°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾・適・湿・過湿	(面積)	10×	6	m ²
(付近の植生) 山頂部風衝低木群落		(出現種数)	27		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)		〜			
T2(亜高木層)		〜			
S(低木1層)	-	0.5 ~ 3m	80%	0.5~3cm	20
(低木2層)		〜			
H(草本層)	-	0 ~ 0.5m	30%	-	13

2010年3月16日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
S		2・2		マンサク	H		3・3		スゲ ^ス sp.					
		2・2		ネジキ			2・2		ホツツジ					
		2・2		イヌツゲ			2・2		コガクウツギ					
		2・2		ヒサカキ			2・2		ヤマツツジ					
		2・2		コバノミツバツツジ			1・1		ナガバノコウヤボウキ					
		2・2		ミズキ			1・1		タンナサワフタギ					
		1・1		ブナ			1・1		ケクロモジ					
		1・1		アカガシ			+		ソヨゴ					
		1・1		タンナサワフタギ			+		イヌツゲ					
		1・1		アカシデ			+		ナガバモミジイチゴ					
		1・1		ツツジ属sp.			+		ヒサカキ					
		1・1		ホツツジ			+		ツリバナ					
		+		ヤマボウシ			+		ソヨゴ					
		+		リョウブ										
		+		タカノツメ										
		+		ソヨゴ										
		+		アズキナシ										
		+		トネリコ属sp.										
		+		カマツカ										
		+		ドウダンツツジ属sp.										

様式4

植生調査票

No. 36	(地図)	(海拔)	970m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N44W		
(地形) 斜面中部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	28°		
(土壌) 褐色森林土(岩多い)	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10× 40 m ²		
(付近の植生) シキミーモミ群集		(出現種数)	23		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	モミ	15 ～ 20m	70%	20～67cm	1
T2(亜高木層)	-	8 ～ 14m	40%	5～20cm	6
S(低木1層)	-	3 ～ 7m	30%	1～5cm	7
(低木2層)	-	1.5 ～ 3m	30%	～1cm	6
H(草本層)	アサマツゲ	0 ～ 1.5m	60%	-	7

2010年3月16日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		モミ	S1		2・2		アブラチャン	H		4・4		アサマツゲ
							1・1		ヒメノキシノブ			1・1		コガクウツギ
							1・1		カナクギノキ			+		ツルマサキ
							+		ツルアジサイ			+		モミ
							+		コハウチワカエデ			+		ヤブツバキ
							+		ヤブツバキ			+		ヤマアジサイ
							+		ウリハダカエデ			+		イヌツゲ
					S2		2・2		アサマツゲ					
							2・2		ケクロモジ					
							+		アオハダ					
							+		キブシ					
							+		シキミ					
T2		1・1		タカノツメ			+		カマツカ					
		1・1		アカガシ										
		1・1		コハウチワカエデ										
		1・1		対生sp.										
		1・1		アオダモsp.										
		1・1		シラキ										

様式4

植生調査票

No. 37	(地図)	(海拔)	665m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N48W		
(地形) 谷上部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	26°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10× 36 m ²		
(付近の植生) ウリノキ-ミズキ群落			(出現種数)	40	
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	キハダ	14 ~ 18m	85%	20~53cm	10
T2(亜高木層)	ミズキ	7 ~ 14m	50%	5~20cm	8
S(低木1層)	-	3 ~ 7m	35%	1~5cm	8
(低木2層)	チドリノキ	1 ~ 3m	30%	~1cm	8
H(草本層)	オオキツネノカミソリ	0 ~ 1m	65%	-	23

2010年3月17日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		3・3		キハダ	S1		2・2		ミズキ	H		4・4		オオキツネノカミソリ
		3・3		カナクギノキ			1・1		ネズミモチ			2・2		キツタ
		2・2		ミズキ			1・1		チドリノキ			1・1		ウツギsp.
		2・2		シオジ			1・1		イタヤカエデ			1・1		シロダモ
		2・2		カラスザンショウ			1・1		カヤ			1・1		ハルトラノオ
		2・2		クマノミズキ			+		シロダモ			+		ミツバ
		2・2		アカメガシワ			+		キツタ			+		ツルマサキ
		1・1		キツタ			+		モミ			+		エンゴサク
		1・1		イタヤカエデ								+		ユリワサビ
		1・1		ネムノキ								+		ヤブツバキ
					S2		3・3		チドリノキ			+		ジュウモンジシダ
							1・1		シロダモ			+		クマワラビ
							1・1		アオキ			+		シロバナネコノメソウ
							1・1		ヤブツバキ			+		チャルメルソウsp.
							+		アワブキ			+		オオバチドメ
T2		2・2		カナクギノキ			+		ウツギ属sp.			+		ネズミモチ
		2・2		ミズキ			+		ミヤマイボタsp.			+		マメヅタ
		1・1		キツタ			+		ガマズミ属sp.			+		アオキ
		1・1		チドリノキ								+		シロダモ
		1・1		イロハモミジ								+		イノデモドキ
		1・1		不明sp.								+		サイゴクイノデ
		+		イタヤカエデ								+		ユリ科sp.
		+		ツルマサキ								+		スゲsp.

様式4

植生調査票

No. 38	(地図)	(海拔)	690m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N36W		
(地形) 谷部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	24°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10×36 m ²		
(付近の植生) ウリノキ-ミズキ群落		(出現種数)	23		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	キハダ	15 ~ 18m	85%	20~45cm	4
T2(亜高木層)	シオジ	7 ~ 13m	70%	5~20cm	8
S(低木1層)	チドリノキ	3 ~ 7m	60%	1~5cm	5
(低木2層)	-	1.5 ~ 3m	15%	~1cm	6
H(草本層)	オオキツネノカミソリ	0 ~ 1.5m	45%	-	9

2010年3月17日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		キハダ	S1		4・4		チドリノキ	H		3・3		オオキツネノカミソリ
		2・2		シオジ			2・2		シオジ			2・2		ウツギsp.
		2・2		カラスザンショウ			1・1		ツルマサキ			1・1		ネコノメソウ属sp.
		1・1		カナクギノキ			1・1		イタヤカエデ			+		イノデモドキ
							+		ネズミモチ			+		ヤブツバキ
												+		キツタ
												+		ネズミモチ
												+		シロダモ
												+		ヤブソテツ
					S2		2・2		チドリノキ					
							+		カヤ					
							+		ヤブニッケイ					
							+		ウツギsp.					
							+		イロハモミジ					
T2		3・3		シオジ			+		ガマズミ属sp.					
		3・3		アワブキ										
		2・2		ミズキ										
		1・1		ヤブニッケイ										
		1・1		チドリノキ										
		1・1		クマノミズキ										
		1・1		カナクギノキ										

様式4

植生調査票

No. 39	(地図)	(海拔)	740m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N87W		
(地形) 谷部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	34°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10× 38 m ²		
(付近の植生) ウリノキ-ミズキ群落		(出現種数)	39		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	ミズキ	15 ~ 18m	85%	20~27cm	5
T2(亜高木層)	ミズキ	7 ~ 15m	40%	5~20cm	5
S(低木1層)	チドリノキ	3 ~ 7m	35%	1~5cm	8
(低木2層)	-	1 ~ 3m	10%	~1cm	9
H(草本層)	-	0 ~ 1m	12%	-	22

2010年3月17日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		ミズキ	S1		3・3		チドリノキ	H		1・1		エンゴサクsp.
		3・3		カナクギノキ			2・2		ミズキ			1・1		アオキ
		2・2		アカメガシワ			1・1		イヌガシ			1・1		ニリンソウ
		1・1		エゾエノキ			1・1		カナクギノキ			1・1		オオキツネノカミソリ
		1・1		キハダ			+		イワガラミ			1・1		ネコノメソウ属sp.
							+		キツタ			1・1		ツルアジサイ
							+		モミ			1・1		カヤ
							+		ヌルデ			1・1		イタビカズラ
												+		ミツバアケビ
												+		ナガバモミジイチゴ
T2		3・3		ミズキ	S2		1・1		ミズキ			+		ユリワサビ
		1・1		カナクギノキ			1・1		ミヤマイボタsp.			+		イノデモドキ
		1・1		シロダモ			+		テイカカズラ			+		テイカカズラ
		1・1		イタヤカエデ			+		イヌガヤ			+		アザミsp.
		1・1		シオジ			+		ガマズミ属sp.			+		スマレ属sp.
							+		サザンカ			+		クマワラビ
							+		シロダモ			+		オオイタチシダ
							+		ツルマサキ			+		キツタ
							+		シオジ			+		シロダモ
												+		ヤブツバキ
												+		オウギカズラ
												+		ウツギsp.

様式4

植生調査票

No. 40	(地図)	(海拔)	850m		
(調査地) 多良岳山系	(風当) 強(中)・弱	(方位)	N49W		
(地形) 斜面上部	(日当) (陽)・中・陰	(傾斜)	29°		
(土壌) 褐色森林土	(土質) 乾(適)・湿・過湿	(面積)	10× 34	m ²	
(付近の植生) アカシデーイヌシデ群落		(出現種数)	23		
階層	優占種	高さ	植被率	胸高直径	階層別種数
T1(高木層)	イヌシデ	14 ~ 17m	85%	20~40cm	9
T2(亜高木層)	コハウチワカエデ	7 ~ 14m	40%	5~20cm	4
S(低木1層)	シキミ	3 ~ 7m	75%	1~5cm	6
(低木2層)		~		-	
H(草本層)	-	0 ~ 1.5m	2%	-	12

2010年3月17日 調査者:高尾、一野、浅山

S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.	S	L	D・S	V	SPP.
T1		4・4		イヌシデ	S		4・4		シキミ	H		1・1		ミヤマシキミ
		2・2		アズキナシ			2・2		コハウチワカエデ			+		ツリバナ
		2・2		アカガシ			2・2		アオキ			+		タブノキ
		2・2		クマシデ			1・1		ネズミモチ			+		タチツボスミレ
		2・2		エゴノキ			1・1		カヤ			+		シロダモ
		2・2		アオハダ			+		アオキ			+		シシガシラ
		1・1		ウロミズザクラsp.								+		シキミ
		1・1		コハウチワカエデ								+		カンアオイ属sp.
		1・1		ウリハダカエデ								+		オオキツネノカミソリ
												+		ウツギsp.
T2		3・3		コハウチワカエデ								+		イヌツゲ
		2・2		アズキナシ								+		アオキ
		1・1		イヌツゲ										
		1・1		イヌシデ										

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

群落名:シキミーモミ群集

プロットNo. 1

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	37.6	13.0												
2	モミ	76.0	18.0												
3	アカガシ	28.7	15.0												
4	モミ	59.7	20.0												
5	モミ	66.0	20.0												
6	アカガシ	26.9	10.0												
7	アカガシ	36.3	14.0												
8	リョウブ	19.9	9.0												
9	モミ	59.4	19.0												
10	アカガシ	37.5	16.0												
11	アカガシ	21.0	6.0	○			立枯れ								
12	モミ	22.5	14.0												
13	モミ	27.0	13.0	○			先折れ								
14	サカキ	30.5	12.0	○			先折れ								
15	モミ	49.6	24.0												
16	ヒメシヤラ	54.0	20.0												
17	アカガシ	54.5	14.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

群落名:ツガ-ツクシシヤクナゲ群落

プロットNo. 2

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	23.8	10.0				2本株立ち								
		20.3	10.0												
2	ツガ	52.1	15.0												
3	アカガシ	22.0	11.0												
4	ツガ	39.5	13.0												
5	ツガ	24.3	15.0												
6	ブナ	24.5	8.0												
7	ツガ	26.2	12.0												
8	タカノツメ	36.4	5.0												
9	ツガ	48.0	12.0												
10	アカガシ	37.3	11.0												
11	ソヨゴ	18.0	8.0				4本株立ち								
12	イヌシデ	18.3	9.5												
13	ムシカリ?	33.4	9.0												
14	ツガ	46.5	13.5				斜めに倒れ、根が半分露出								
15	アカガシ	35.2	15.0												
16	イヌシデ	21.9	14.5												
17	リョウブ	21.9	7.5												
18	アカガシ	48.8	12.0												
19	アカガシ	24.5	8.5												
20	アカガシ	37.0	8.0												
21	リョウブ	21.0	4.0												
22	ツゲモチsp.	28.2	8.5												
23	リョウブ	20.0	6.0				3本株立ち								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

群落名:アカマツ群落

プロットNo. 3

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	19.8	8.0				6本株立ち								
2	アカガシ	18.4	9.5				4本株立ち								
3	アカガシ	21.8	9.0				4本株立ち								
4	アカマツ	32.0	10.0												
5	アカガシ	21.6	11.0												
6	アカマツ	32.0	17.0												
7	アカマツ	32.8	16.5												
8	アカマツ	25.1	12.5	○			先折れ								
9	アカマツ	30.2	9.5	○			先折れ								
10	アカガシ	18.1	9.0				3本株立ち								
11	アカガシ	19.2	10.0												
12	アカマツ	28.6	13.5												
13	アカマツ	23.4	9.0												
14	アカマツ	33.2	14.0												
15	アカマツ	29.8	13.5												
16	アカマツ	23.8	10.5												
17	アカマツ	34.0	15.0												
18	アカマツ	25.2	14.0												
19	アカマツ	45.0	17.0												
20	アカマツ	25.8	11.0												
21	アカマツ	22.7	14.0												
22	アカガシ	18.7	10.0				2本株立ち								
23	アカガシ	19.5	10.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

群落名:アカガシ二次林

プロットNo. 4

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	27.0	8.0												
2	タカノツメ	24.4	14.0												
3	アカガシ	40.3	8.0												
4	アカガシ	23.0	9.5												
5	アカガシ	17.4	9.0												
6	アカガシ	25.0	15.0												
7	アカガシ	21.7	14.0												
8	リョウブ	30.4	11.0				3本株立ち								
9	アカガシ	110.0	8.0	○			立枯れ								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名: 多良岳山系

調査: 2010年3月2日

担当者: 笛田、一野

群落名: アカシデ-イヌシデ群落

プロットNo. 5

(単位: cm, m: 少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ブナ	25.4	12.0												
2	イヌシデ	23.8	13.0				2本株立ち								
		18.5	13.0												
3	ブナ	19.5	13.0												
4	クマシデ	18.9	12.0												
5	ブナ	18.0	12.0												
6	イヌシデ	20.5	13.0												
7	イヌシデ	22.3	13.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月2日

担当者:一野、笛田

群落名:シキミ-モミ群集

プロットNo. 6

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	クマシデ	28.0	15.0												
2	クマシデ	26.8	15.0												
3	ブナ	19.2	15.0												
4	アカガシ	47.7	15.0												
5	モミ	103.0	20.0												
6	モミ	26.2	16.0												
7	シキミ	20.0	8.0				2本株立ち								
8	アカガシ	24.1	14.0												
9	モミ	102.0	18.0			○									
10	モミ	38.5	15.0												
11	モミ	53.0	15.0												
12	モミ	94.0	18.0												
13	クマシデ	19.3	10.0												
14	ブナ	20.7	15.0				ヤドリギ着生								
15	クマシデ	21.7	15.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月2日

担当者:笛田、一野

群落名:シラキ-ブナ群集

プロットNo. 7

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	コハウチワカエデ	25.5	15.0	○根元			4本株立ち 中2本測								
	コハウチワカエデ	19.0	15.0												
2	ブナ	60.8	18.0												
3	不明	22.0	15.0												
4	アオハダ	25.2	13.0												
5	不明	21.2	12.0												
6	ミズメ	39.8	15.0												
7	クマシデ	30.9	13.0												
8	ブナ	43.6	18.0												
9	ブナ	42.3	18.0												
10	アオハダ	21.9	13.0												
11	コハウチワカエデ	22.0	13.0				2株立ち								
	コハウチワカエデ	20.9	13.0												
12	クマシデ	30.5	17.0												
13	イヌシデ	19.3	13.0												
14	クマシデ	21.0	15.0												
15	クマシデ	31.5	15.0												
16	イヌシデ	23.4	15.0												
17	イヌシデ	31.6	13.0												
18	イヌシデ	28.7	15.0												
19	コハウチワカエデ	24.5	15.0				2本株立ち								
	コハウチワカエデ	20.2	13.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

群落名:ツガーツクシジャクナゲ群落

プロットNo. 8

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ツガ	56.0	8.0												
2	ツガ	18.0	9.0	○			2本株立 2本とも枯死								
		35.0	10.0	○											
3	ネジキ	18.0	6.0	○			上部枯れ								
4	アズキナシ	22.0	9.0												
5	アカガシ	20.0	9.0												
6	ツガ	47.5	12.0	○			枝先枯れ								
7	ヤマグルマ	18.0	5.0												
8	ツガ	48.0	13.0												
9	不明	23.0	11.0												
10	ツガ	25.0	13.0	○			枝一部枯れ								
11	アカガシ	33.5	13.0				3本株立 内2本測								
	アカガシ	19.0	11.0												
12	ツガ	34.0	14.0												
13	リョウブ	18.0	11.0			○									
14	ヤマグルマ	28.5	5.0	○			2株立 枝先枯死								
		22.0	4.0	○											
15	ツガ	46.0	14.0	○			上部枯れ								
16	ヤマグルマ	22.0	9.0	○			上部枯れ								
17	ツガ	25.0	8.0												
18	ツガ	46.0	14.0	○			枝先枯れ								
19	アカガシ	27.5	8.0	○			枝先枯れ								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

群落名:ミヤマシキミーアカガシ群集

プロットNo. 9

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	37.0	14.0												
2	モミ	50.0	18.0												
3	アカガシ	41.0	16.0												
4	アカガシ	37.0	16.0												
5	ヤブツバキ	21.6	8.0												
6	アカガシ	35.0	15.0												
7	アカガシ	30.0	14.0												
8	クマシデ	32.0	14.0												
9	モミ	46.5	12.0	○			上部枯れ								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

群落名:シキミ-モミ群集

プロットNo. 10

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	41.0	15.0												
2	モミ	49.0	15.0	○			枝一部枯れ								
3	コハウチワカエデ	20.0	12.0												
4	コハウチワカエデ	22.5	15.0												
5	アカガシ	28.0	9.0												
6	アカガシ	37.0	16.0												
7	コハウチワカエデ	24.5	14.0												
8	イヌシデ	24.0	16.0												
9	不明	27.0	7.0	○			枯死								
10	イヌシデ	28.0	18.0												
11	アズキナシ	29.0	16.0												
12	ブナ	21.0	10.0												
13	モミ	67.0	20.0												
14	アズキナシ	20.0	15.0												
15	イヌシデ	20.0	13.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名: 多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者: 高尾、浅山、一野

群落名: シラキーブナ群集

プロットNo. 11

(単位: cm, m: 少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	モミ	21.0	9.0												
2	コハウチワカエデ	26.0	12.0												
3	ブナ	34.0	15.0												
4	コハウチワカエデ	21.0	13.0												
5	ブナ	26.5	16.0												
6	ブナ	29.0	17.0												
7	イヌシデ	20.0	15.0												
8	ブナ	20.5	15.0												
9	ブナ	29.5	17.0												
10	ブナ	30.5	17.0												
11	ブナ	20.0	14.0												
12	ブナ	39.0	15.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名: 多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者: 高尾、浅山、一野

群落名: ミヤマシキミ-アカガシ群集

プロットNo. 12

(単位: cm, m: 少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	51.0	16.0												
2	ブナ	25.0	9.0	○			主幹枯死								
3	アカガシ	39.0	15.0												
4	アカガシ	21.0	14.0												
5	ブナ	35.0	14.0												
6	ブナ	21.0	14.0												
7	アカガシ	58.0	16.0												
8	アカガシ	30.0	17.0												
9	ブナ	23.0	14.0												
10	不明	34.0	12.0	○			枯死								
11	アカガシ	30.5	17.0												
12	アカガシ	56.0	17.0												
13	アカガシ	51.0	16.0												
14	アカガシ	35.4	16.0												
15	アズキナシ	25.2	15.0												
16	リョウブ	22.0	14.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名: 多良岳山系

調査: 2010年3月2日

担当者: 高尾、浅山

群落名: シラキーブナ群集

プロットNo. 14

(単位: cm, m: 少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ブナ	30.9	10.0												
2	ヒメシャラ	16.9	9.0												
3	ブナ	44.7	17.0												
4	ブナ	36.0	15.0												
5	イヌシデ	25.5	12.0												
6	モミ	29.5	15.0												
7	ブナ	30.3	15.0												
8	ヒメシャラ	25.7	16.0												
9	イヌシデ	22.5	16.0												
10	イヌシデ	24.0	15.0												
11	イヌシデ	18.5	15.0												
12	ブナ	47.8	15.0												
13	ブナ	34.7	17.0												
14	イヌシデ	34.6	17.0												
15	ブナ	50.5	14.0												
16	ブナ	57.0	17.0												
17	ブナ	44.9	16.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月2日

担当者:高尾、浅山

群落名:ミヤマシキミ-アカガシ群集

プロットNo. 15

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	46.2	15.0												
2	ブナ	27.3	8.0												
3	ブナ	27.7	12.0												
4	ブナ	39.9	16.0												
5	ブナ	22.6	6.0	先折れ			2本株立ち								
	ブナ	26.6	13.0												
6	ブナ	26.6	15.0												
7	アカガシ	23.1	14.0												
8	アカガシ	25.5	14.0												
9	ブナ	47.6	17.0												
10	イヌシデ	31.2	13.0												
11	アカガシ	32.7	17.0												
12	アカガシ	32.7	14.0												
13	ブナ	31.0	17.0												
14	ブナ	42.5	16.0				2本株立ち								
15	ブナ	35.0	15.0												
	ブナ	39.2	15.0				立枯れ								
16	ブナ	35.8	15.0												
17	アカガシ	42.2	8.0												
18	アカガシ	26.1	10.0												
19	アカガシ	36.5	12.0												
20	ブナ	27.5	10.0												
21	ブナ	44.7	12.0												
22	ブナ	21.5	10.0												
23	アカガシ	30.6	15.0												
24	アズキナシ	19.9	13.0												
25	イヌシデ	19.7	15.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月2日

担当者:高尾、浅山

群落名:ミヤマシキミ-アカガシ群集

プロットNo. 16

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	34.1	12.0												
2	ブナ	28.8	15.0												
3	ブナ	22.1	12.0												
4	アカガシ	26.4	10.0				立枯れ								
5	アカガシ	60.4	14.0				2本株立ち								
	アカガシ	33.2	12.0												
6	アカガシ	19.7	9.0												
7	ブナ	31.3	13.0												
8	モミ	24.5	15.0												
9	アカガシ	38.9	15.0												
10	コハウチワカエデ	25.2	15.0												
11	アカガシ	38.9	15.0												
12	アカガシ	25.2	15.0												
13	コハウチワカエデ	38.7	14.0												
14	イヌシデ	19.6	15.0												
15	モミ	32.1	15.0												
16	イヌシデ	33.1	15.0												
17	アカガシ	21.8	15.0												
18	アカガシ	40.4	13.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月4日

担当者:高尾、浅山、一野、井原

群落名:アカシデ-イヌシデ群落

プロットNo. 17

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカメガシワ	22.5	18.0												
2	アサガラ	30.1	18.0												
3	アサガラ	42.4	20.0												
4	シオジ	22.6	20.0												
5	イタヤカエデ	25.2	18.0				2本株立1本測								
6	サワグルミsp.	26.8	16.0												
7	サワグルミsp.	21.3	16.0												
8	アカメガシワ	30.6	16.0												
9	アサガラ	22.0	16.0												
10	エゾエノキ	31.4	20.0												
11	エゾエノキ	35.7	20.0												
12	カラスザンショウ	20.7	20.0												
13	キハダ	35.0	20.0												
14	アサガラ	25.8	18.0												
15	不明	27.4	20.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月4日

担当者:高尾、浅山、一野、井原

群落名:シオジ群落

プロットNo. 18

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	カラスザンショウ	25.6	17.0												
2	キハダ	35.0	18.0												
3	キハダ	37.5	20.0												
4	カラスザンショウ	28.0	18.0												
5	シオジ	22.2	16.0												
6	シオジ	26.3	20.0												
7	カラスザンショウ	26.7	17.0												
8	キハダ	32.3	16.0												
9	キハダ	34.0	18.0												
10	キハダ	31.5	17.0												
11	キハダ	36.8	20.0												
12	シオジ	27.0	20.0				2本株立1本測								
13	シオジ	25.4	20.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月4日

担当者:高尾、浅山、一野、井原

群落名:シオジ群落

プロットNo. 19

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	カラスザンショウ	27.4	16.0												
2	不明	28.3	17.0												
3	キハダ	36.0	18.0												
4	カラスザンショウ	25.5	18.0												
5	シオジ	24.4	18.0				2株立1本測								
6	シオジ	23.2	17.0												
7	不明	27.1	18.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月4日

担当者:高尾、浅山、一野、井原

群落名:ウラジログシ二次林

プロットNo. 20

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	イヌシデ	20.7	16.0												
2	ウラジログシ	22.3	12.0												
3	ウラジログシ	28.0	18.0												
4	ウラジログシ	28.3	15.0												
5	ヤブニッケイ	27.1	18.0												
6	ウラジログシ	34.9	15.0												
7	ケヤキ	58.0	15.0												
8	ウラジログシ	26.4	18.0				2本株立1本測								
9	不明	25.3	16.0												
10	不明	29.0	16.0												
11	ウラジログシ	43.0	20.0												
12	ミズキ	22.0	17.0												
13	イヌシデ	22.0	16.0												
14	ウラジログシ	32.2	16.0												
15	ウラジログシ	24.5	19.0												
16	ウラジログシ	35.4	20.0												
17	アカガシ	31.8	16.0												
18	ウラジログシ	27.7	20.0				2本株立								
	ウラジログシ	30.9	19.0												
19	ウラジログシ	34.1	16.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月5日

担当者:一野、浅山

群落名:リョウブ-ミズナラ群集

プロットNo. 21

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズナラ	19.4	8.0												
2	ミズナラ	17.8	7.0				3本株立 2本測								
	ミズナラ	17.7	7.0												
3	ミズナラ	25.8	7.0												
4	アズキナシ	32.0	8.0												
5	ミズナラ	24.2	8.0												
6	クマシデ	21.5	7.5												
7	コハウチワカエデ	22.3	7.5												
8	ミズナラ	32.3	8.0												
9	アズキナシ	18.0	8.0												
10	アズキナシ	20.7	7.5												
11	不明	25.5	8.0	○			枯死								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月5日

担当者:一野、浅山

群落名:リョウブ-ミズナラ群集

プロットNo. 22

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズナラ	27.7	13.0												
2	ミズナラ	18.0	12.0												
3	ミズナラ	25.6	14.0												
4	ミズナラ	21.3	13.0												
5	クマシデ	28.3	14.0												
6	ヒメシャラ	23.9	14.0												
7	コハウチワカエデ	18.2	12.0												
8	不明	30.9	12.0	○			2本株立、枯死								
9	ミズナラ	32.5	14.0												
10	ミズナラ	18.5	14.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系
 群落名:リョウブ-ミズナラ群集

調査:2010年3月5日
 プロットNo. 23

担当者:一野、浅山

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズナラ	18.2	7.0												
2	ミズナラ	27.7	8.0												
3	アカシデ	18.5	8.0												
4	ミズナラ	27.2	7.0												
5	ミズナラ	18.0	8.0												
6	ミズナラ	27.1	8.0												
7	タカノツメ	21.0	6.0				斜め立ち								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月5日

担当者:一野、浅山

群落名:リョウブ-ミズナラ群集

プロットNo. 24

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズナラ	18.3	9.0				2本株立、1本測								
2	ミズナラ	20.5	6.0												
3	ミズナラ	29.0	8.0												
4	ミズナラ	23.9	9.0												
5	クマシデ	20.4	9.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月5日

担当者:一野、浅山

群落名:リョウブ-ミズナラ群集

プロットNo. 25

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズナラ	28.0	9.0												
2	ミズナラ	19.4	10.0												
3	コハウチワカエデ	25.8	10.0												
4	ミズナラ	23.9	10.0												
5	ミズナラ	23.4	10.0												
6	ミズナラ	25.8	10.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月8日

担当者:井原、高尾

群落名:ウリノキ-ミズキ群落

プロットNo. 26

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アサガラ	57.6	20.0												
2	キハダ	32.0	19.0				2本株立ち								
	キハダ	29.9	28.5												
3	ミズキ	21.2	20.0												
4	カラスザンショウ?	30.3	18.5												
5	ミズキ	23.0	18.5												
6	ミズキ	32.8	19.5												
7	キハダ	20.0	12.0												
8	イタヤカエデ	36.4	19.0												
9	イロハモミジ	30.4	18.0												
10	イタヤカエデ	20.4	17.0												
11	イタヤカエデ	20.0	16.0												
12	ミズキ	22.1	18.5												
13	ミズキ	26.0	19.0												
14	イタヤカエデ	19.1	15.0												
15	ミズキ	31.0	20.0												
16	キハダ	27.3	19.0												
17	イタヤカエデ	29.2	20.0												
18	ヤマザクラ	35.0	20.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名: 多良岳山系

調査: 2010年3月8日

担当者: 井原、高尾

群落名: ウリノキ-ミズキ群落

プロットNo. 27

(単位: cm, m: 少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	ミズキ	24.5	18.0												
2	カゴノキ	22.0	17.5												
3	ミズキ	23.0	19.0												
4	ミズキ	22.5	17.0												
5	アサガラ	19.7	17.5												
6	アズキナシ	24.6	18.0												
7	ミズキ	27.7	17.0												
8	ミズキ	37.3	20.0												
9	キハダ	37.5	19.0												
10	イヌシデ	19.5	17.5												
11	ミズキ	31.7	18.0												
12	ヤブツバキ	29.5	13.0												
13	ミズキ	19.0	13.0												
14	ミズキ	28.5	20.0												
15	エゴノキ	25.1	20.0												
16	イロハモミジ	27.4	20.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月8日

担当者:井原、高尾

群落名:ウラジログシ二次林

プロットNo. 28

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	モミ	26.3	17.0												
2	ウラジログシ	23.1	15.0												
3	ヤマザクラ	21.1	13.0				3本株立ち								
4	イヌシデ	24.2	17.0												
5	アカガシ	25.0	17.0				3本株立ち								
	アカガシ	23.3	17.0												
6	イヌシデ	19.4	13.0												
7	ウラジログシ	20.7	17.0												
8	ウラジログシ	22.0	15.0				3本株立ち								
	ウラジログシ	24.7	26.0												
9	アカガシ	26.2	17.0				2本株立ち								
	アカガシ	26.1	17.0												
10	アカガシ	23.1	15.0				2本株立ち								
	アカガシ	25.1	15.0												
11	イヌシデ	22.0	17.0												
12	イヌシデ	24.6	17.0												
13	イイギリ	28.7	17.0												
14	アカガシ	57.5	17.0												
15	イヌシデ	19.4	14.0												
16	タブノキ	27.3	18.0												
17	イヌシデ	27.0	17.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月8日

担当者:井原、高尾

群落名:アカマツ群落

プロットNo. 29

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカマツ	39.0	10.0				2本株立ち								
	アカマツ	27.8	10.0												
2	アカマツ	42.0	17.0												
3	アカマツ	63.6	18.0												
4	イヌシデ	18.1	12.0												
5	アカガシ	19.8	9.0												
6	アカマツ	18.0	15.0												
7	アカマツ	39.3	18.0												
8	アカマツ	21.5	16.0												
9	アカマツ	33.7	16.0												
10	アカマツ	19.3	10.0												
11	アカマツ	24.3	10.0												
12	アカマツ	45.4	11.0	○			立枯れ								
13	アカガシ	26.5	10.0												
14	アカマツ	44.8	17.0												
15	アカマツ	33.1	15.0												
16	タカノツメ	26.3	12.0												
17	アカガシ	19.5	12.0				2本株立ち								
		19.7	12.0												
18	アカガシ	19.5	11.0												
19	アカマツ	28.7	10.0												
20	アカマツ	24.6	14.0												
21	アカマツ	28.5	16.0												
22	アカマツ	27.2	9.0												
23	アカマツ	29.5	18.0												
24	アカガシ	21.7	13.0												
25	アカマツ	41.3	13.0												
26	アカマツ	33.3	12.0												
27	アカマツ	31.8	14.0												
28	アカマツ	28.4	14.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月16日

担当者:一野、井原

群落名:アカガシ二次林

プロットNo.30

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	40.0	9.0												
2	アカガシ	30.8	9.0												
3	アカガシ	27.2	9.0	○			萌芽枝枯死								
4	アカガシ	37.0	8.5												
5	コハウチワカエデ	24.5	9.0												
6	リョウブ	20.0	9.0												
7	アカガシ	21.0	8.0												
8	アカガシ	25.1	8.0												
9	アカガシ	23.5	8.5												
10	アカガシ	21.1	9.0												
11	アカガシ	20.7	8.5												
12	アカガシ	32.7	8.5												
13	アカガシ	36.0	8.0												
14	アカガシ	19.2	8.0												
15	アカガシ	23.8	8.5												
16	アカガシ	27.7	9.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月16日

担当者:一野、井原

群落名:アカガシ二次林

プロットNo.31

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アカガシ	29.0	13.0				2本株立ち								
	アカガシ	27.0	13.0												
2	アカガシ	43.5	13.5				2本株立ち								
	アカガシ	44.5	13.0												
3	アカガシ	41.5	15.0												
4	アカガシ	23.8	12.0												
5	アカガシ	29.5	13.0												
6	アカガシ	26.0	13.0												
7	アカガシ	28.5	13.0												
8	ユズリハ	22.4	14.0												
9	アカガシ	27.8	14.5												
10	アカガシ	23.3	15.0												
11	リョウブ	18.0	11.0												
12	アカガシ	27.3	14.5				2本株立ち								
	アカガシ	38.5	15.0												
13	アカガシ	31.5	13.0												
14	アカガシ	39.0	15.0												
15	アカガシ	21.7	14.5												
16	タカノツメ	20.5	14.0												
17	アカガシ	18.5	13.0												
18	モチノキ	24.0	12.0												
19	アカガシ	25.0	11.0												
20	アカガシ	21.5	13.5												
21	アカガシ	25.2	12.0												
22	アカガシ	38.0	11.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月17日

担当者:一野、井原

群落名:ウリノキーミズキ群落

プロットNo.37

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	カナクギノキ	31.6	18.0												
2	カナクギノキ	19.5	17.0												
3	カナクギノキ	20.0	14.0												
4	アカメガシワsp.	19.9	16.0												
5	キハダ	22.5	17.0												
6	シオジ	32.3	18.0												
7	アカメガシワsp.	21.4	15.0												
8	カナクギノキ	28.4	15.0												
9	キハダ	36.0	16.0												
10	キハダ	35.4	18.0												
11	ネムノキsp.	24.0	14.0				斜め立ち								
12	カラスザンショウ	23.0	17.0												
13	カナクギノキ	33.0	16.0												
14	クマノミズキsp.	39.0	18.0												
15	不明(対生)	32.5	12.0			○									
16	カヤ	23.5	6.5												
17	イタヤカエデ	21.0	16.0												
18	ミズキ	52.5	18.0			○	幹下部に空洞あり								

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月17日

担当者:一野、井原

群落名:ウリノキーミズキ群落

プロットNo.38

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	キハダ	32.5	17.0												
2	キハダ	44.1	18.0												
3	キハダ	34.9	18.0												
4	カラスザンショウ	27.5	16.0												
5	キハダ	22.8	15.0												
6	キハダ	44.5	16.0												
7	キハダ	31.5	15.0												
8	カヤ	21.6	10.0												
9	カラスザンショウ	23.1	18.0												
10	キハダ	38.5	18.0												
11	アワブキsp.	19.2	12.0	○			2株立ちの一本測								
12	キハダ	25.1	18.0												
13	カラスザンショウ	45.1	16.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

様式5

毎木調査表

(1枚中1枚目)

地域名:多良岳山系

調査:2010年3月17日

担当者:一野、井原

群落名:アカシデーイヌシデ群落

プロットNo.40

(単位:cm, m:少数1位まで)

番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考	番号	樹種	胸高直径	樹高	枯損	剥皮	空洞	備考
1	アズキナシ	40.0	17.0												
2	アズキナシ	21.7	17.0				2株立ちの1本測								
3	イヌシデ	28.3	16.0												
4	アズキナシ	24.5	15.0												
5	ウワミズザクラsp.	25.0	17.0												
6	イヌシデ	29.0	17.0												
7	イヌシデ	26.0	17.0												
8	イヌシデ	21.5	17.0												
9	イヌシデ	18.0	15.0												
10	イヌシデ	29.1	15.0												
11	イヌシデ	24.5	16.0												
12	クマシデ	21.0	14.0												
13	コハウチワカエデ	24.6	14.0												
14	イヌシデ	20.4	17.0												
15	イヌシデ	23.5	17.0												
16	アカガシ	20.0	14.0												
17	アカガシ	31.0	15.0												
18	イヌシデ	37.2	17.0												
19	イヌシデ	36.2	17.0												
20	クマシデ	19.5	16.0												
21	アオハダ	25.8	16.0												
22	エゴノキ	20.9	17.0												
23	エゴノキ	21.5	17.0												
24	アズキナシ	25.5	16.0												
25	ウリハダカエデ	32.7	17.0												

※胸高直径18.0cm以上の立木を調査する。

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

整理番号

プロットNo. 1

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林斑	わ	小班

中心点より磁北方向の写真



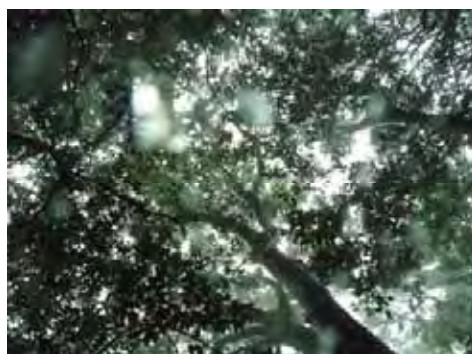
中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

整理番号 2

プロットNo. 2

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1067	林斑	よ	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

整理番号

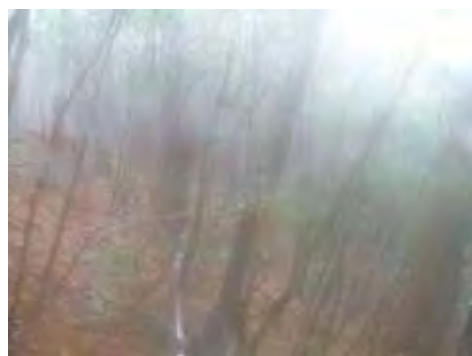
プロットNo. 3

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林斑	る	小班

中心点より磁北方向の写真



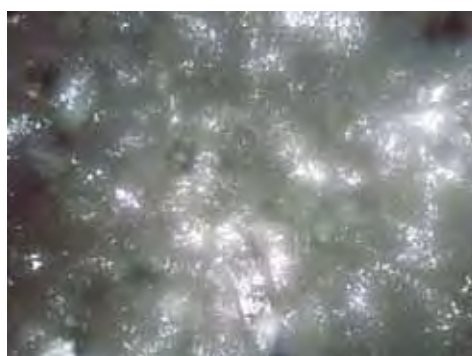
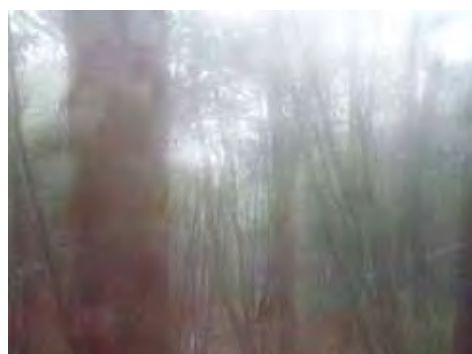
中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月1日

担当者:井原、笛田、高尾

整理番号

プロットNo. 4

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林斑	る	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月2日

担当者: 笛田、一野

整理番号

プロットNo. 5

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	片木山	国有林	1061	林斑	ち	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月2日

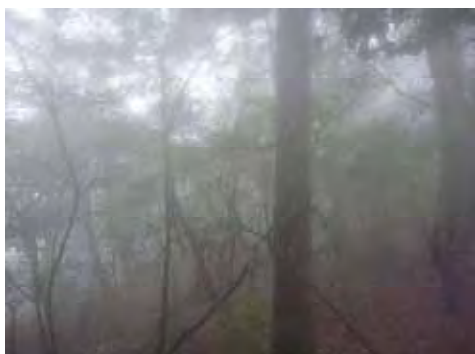
担当者: 笛田、一野

整理番号

プロットNo. 6

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1067	林斑	よ	小班

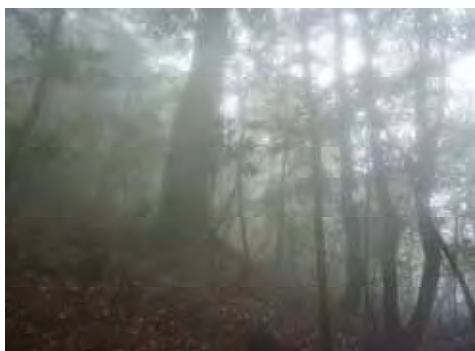
中心点より磁北方向の写真



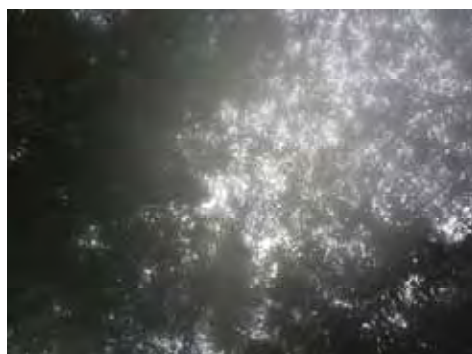
中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月2日

担当者: 笛田、一野

整理番号

プロットNo. 7

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	片木山	国有林	1058	林斑	か	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 8

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島	森林事務所
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林班 わ 小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 9

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1067	林班	よ	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 10

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島	森林事務所
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林班 わ 小班

中心点より磁北方向の写真



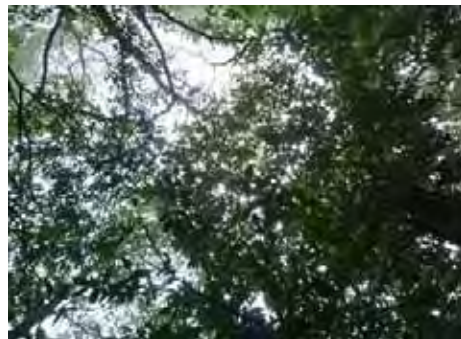
中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 11

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	片木山	国有林	1058	林班	か	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 12

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島 森林事務所			
佐賀東部	森林計画区	片木山	国有林	1058	林班	か	小班

中心点より磁北方向の写真



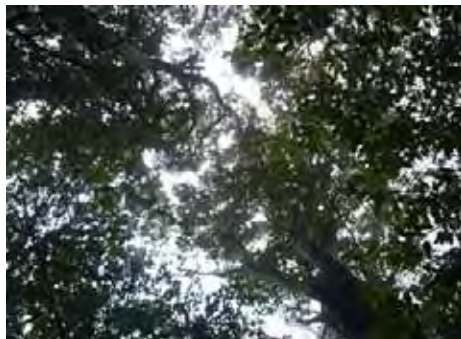
中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月3日

担当者:高尾、浅山、一野

整理番号

プロットNo. 13

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島	森林事務所		
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1068	林斑	わ	小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真

様式6

林分状況写真台帳

地域名:多良岳山系

調査: 2010年3月2日

担当者:高尾、浅山

整理番号

プロットNo. 14

九州	森林管理局	佐賀	森林管理所	鹿島	森林事務所
佐賀東部	森林計画区	本城	国有林	1066	林班 な 小班

中心点より磁北方向の写真



中心点より東方向の写真



中心点より西方向の写真



中心点より南方向の写真



中心点の真上の写真